

第159回簡易アンケート自由意見（598件）

質問 1 2

今後の認知症支援策に対して期待することやご意見、ご要望などありましたら、自由にお書きください。

1	<p>（名称を失念しましたが）社協のあるサービスについて、そのサービスは、契約によって、金銭出納から家事、介護まで受けることができるサービスです。</p> <p>ところが、認知症になると判断能力がないから、契約能力を失うので、そのサービスを継続できないとしています。</p> <p>認知症になって必要になったら、契約できないのは困ります。</p> <p>認知症になる前に、契約は認知症後も有効であるとの契約にしておけば、契約は継続します。見直してください</p>
2	<p>「認知症」と診断を受ける前の予防こそが重要だと思う。</p> <p>だが、制度上の問題として、100%の予防効果が達成され、認知症の人が居なくなったら、「認知症支援策」予算はゼロになり、それに伴い認知症予防対策予算はゼロになる。</p> <p>つまるところ、「認知症支援策」の予算確保の為には、「認知症になった沢山の人」が必要であるという矛盾が感じられる。</p>
3	<p>「認知症カフェ」を川越市は増やした。2013年1月ごろから、社会福祉法人などが運営する地域包括支援センターを中心に認知症カフェを始めた。この取り組みをモデルケースとして全県に展開したい。その旗振り役（コーディネーター）を県に期待する。</p>
4	<p>認知症支援に関するセミナー等開催してほしい。</p>
5	<p>家族に認知症の方が同居していると、日常生活に大きな負担になります。軽度な状態なら良いのですが、進行しますと施設への入居がスムーズに移行できるように、行政関係にお願いしたいです。</p>
6	<p>行政は、面倒見る家族や知人の実態を掴み、もっと使いやすい制度にしてください。</p> <p>今後、数が多くなることははっきりしています。今の制度は、絵に描いた餅的な所がありまして、使い難い制度となっています。使わなければ、本人への人間の尊厳が失われかねません。是非、一番必要なことは、お金があっても使いにくい為、本人への、見守りが損なわれていきます。使った領収書や証明書などの厳格管理をさせて、必要なお金は使えるような仕組みにしてください。</p>
7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・成年後見制度/市民後見の普及促進</li> <li>・MCI早期発見の健診の普及</li> <li>・脳トレの普及（市主催健康体操主催に積極的に組み込むようにする）</li> </ul>
8	<p>1) 他界した母が、アルツハイマー病で通院していたとき、認知症専門医、医療機関が少ないと感じました。2) デイサービスの施設が少なく、自分の趣味、特技、体力に見合ったことをさせてもらえる施設が極端に少ないと思いました。3) 私は、還暦を迎えたことをきっかけに、人間ドック受診の際、頭部CT検査を受け、「生涯、アルツハイマー病にはならない若々しい脳です」と診断を受けました。認知症の予防、早期の段階での検査が重要だと思います。</p>
9	<p>2000年4月に介護保険制度が実施されました。その4年後には制度破綻してしまいました。ざっくりと言えば福祉や介護に携わる人々の知識が不十分で、それで破綻して介護保険料の値上げが始まり今後も上がってゆくでしょう。解決の方法はそれ以外にはないのでしょうか。世界の先進国には上手く行っている所もある。それには長い時間がかかっているのです。日本国においても福祉介護の制度が出来上がるのは長い長い時間、それ以外には何かあるのでしょうか。</p>
10	<p>75歳の時「認知症の治験」に参加し、PET-CT検査まで進みアミロイドβ陰性の判定を受け終了しました。家内も75歳の時「認知症の治験」に参加し、脊髄液検査でアミロイドβ陰性の判定を受けました。相当の費用がかかったと思いますが協力費をいただきながら安心を得ることができ喜んでいきます。これらの検査がもっと気軽にできるような環境になればいいのにと願っています。</p>
11	<p>80才を過ぎているが、幸い元気で、何とか自分自身の事は出来る幸せを感じています。ただ、年齢的には、今後、何かのきっかけで、認知症になることも考えられる。</p> <p>その時は、家族の介護を望んでいるので、その支援の拡充を期待しています。</p>
12	<p>88歳80代後半になりましたが、特に認知症の兆候はありません。シニアに対するパソコンの学習、指導に専念しているからと思います</p>

13	94歳になる母親が一人関西の田舎で暮らしています。そろそろ認知症が始まり、何を話しているのか分からなくなって来ました。面倒を見なくてはいけないのですが、こちらの生活基盤は埼玉で、なかなか行くことも出来ません。県をまたぐとなかなか介護や見守りを誰にお願いしていいか分かりません。県でそのような相談に乗って頂ける部署はありますか？あれば相談したいと思っています。
14	I 専門医による認知症診断の普及、II 認知症薬の最新情報の紹介①西洋薬は、その程度の病状まで飲むべきか(病状が進むとかえって飲まない方が本人との会話が進む?)。②認知症に有効な漢方薬(行動、神経を落ち着かせる抑肝散など)のメリットデメリットなど
15	ITをフル活用した介護の可能性を探ることで様々な問題解決に役立つと思います。
16	NHK特集で長谷川先生が認知症になられてからを放映していました。デイを推奨されていた先生が当事者になると懐疑的に。個々人で症状が異なり、対処も千差万別。早期に適切な対処が望ましいのですが、何が適切なのか？難しい問題です。
17	NPOで市民後見人活動に従事しています。市民感覚での地域の充実寄与するための行政・司法の支援が必要です。
18	withコロナでさぞ大変だと思いますがよろしく願いいたします。
19	アルツハイマー病は別として、認知症はある程度予防できると思う。予防策についての普及活動も政策に入れるのがいい。
20	いまのところは関係ないがいずれ必要になるので準備しておきたい
21	お金だけ
22	お世話する人に不満や疲れがたまらないような制度を作ってほしい。
23	かなり先のことになると思うが、認知症の治療薬や予防薬が普及してくればよいと思う。そうなれば、患者の重症化も避けられ、認知症の人を支援する側の負担も軽くなると思う。
24	こうした、【認知症】に関する学習を、社会全体が頻繁に繰り返し習得し、これからの生かしていく一層の真剣な取り組みとして、行政が先導役となって実践して行ってほしいものだと、切に存じます。
25	コスト抑制のために家族による介護を推奨したいのだろうが、その家族の人生の相当期間が失われる現実を見つめ直すべきであろう。年金のみで入所可能な施設を拡充すべきであり、国力維持のためにも就労世代に過度な負担をかけるべきではないと考える。
26	ことばとしては知っていても、よく知られていないものの1つだと思います。多くの人に正しく知らしめる(学校などの授業で扱ってもいいのかもしれない)ことが大切だと思います。
27	このアンケートを通じて簡単なことなら自分も手伝えそうだったと思った。家族だけでみると孤立化して大変だと思う。地域ぐるみでみれるようなネットワークづくりをして欲しい。図書館やスーパーなど多くの人が見れて気軽に参加出来るような募集方法がよい。
28	このご時世、私的ボランティアは後々のトラブルの原因になるので、公的なサポートの拡充が必要だと思います。
29	このようなアンケートをされても殆ど知識がないので答えられない。対策については、専門家による検討を得て推進して欲しい。一般人に対しては、自分もいつかは認知症になる可能性は高いのだから、ならないよう、軽症で済むよう、今から準備することなどの啓蒙活動に重点を置くべきである。
30	これからはまったなしの高齢者時代ですので、行政が積極的に認知症啓蒙活動をしていてもらいたい。
31	これから増える認知症の方をこれからどうするか今のうちから国や県や市は検討していく必要があると思います。今回の感染症のように起きてからでは遅すぎます。
32	これまで以上に高齢化社会になり、認知症の方が多くなりそうな方向性の中で、介護をする家族や専門医そしてケアに従事する方々は大変です。医療や介護サービスの充実や施設の増設等を期待したいです。市役所や町村役場の窓口充実をはかる事が一番大切になってくると思います。
33	コロナウィルスで生活の不安が増してきたように思う。
34	コロナショックと同様に誰もが認知症になる危険性を持っている。本質をよく理解して自身のためできることを確認して、社会に貢献出来る方策を認知して、共存共栄に務める努力を続ける様に無理ない生活を送ることだと思います。
35	コロナの対応で外出やデイサービス等利用できなくなり困っている人がたくさんいます。第2波が来る前に対応を検討してほしい
36	ご家族は認知症の事オープンにしたくないかもしれないが、オープンにできる社会オープンにしたらみんな地域で助け合える社会にしたい

37	サービスの拡充。安楽死制度。
38	地元市の市民後見人に登録しています
39	サポーターの講習を受け、リングをいただいたのですが、具体的に認知症の方にかかわった経験がないので、講習の内容を忘れてしまった。受講者のネットワークを作って定期的に実務の研修をして欲しい。
40	サポーター養成講座を受講したいのですが、連絡先がわかりません。
41	サポート体制の充実を図るため、認知症介助士（日本プロフィット教育機構）の支援や資格取得者の活用策、認知向上策に期待する。
42	推進願います
43	すでにあるかもしれませんが、気軽にメールなどでも相談窓口にお問い合わせできるような仕組みがあればいいと思います。
44	その様な状況になってからどうすべきかのマニュアル的なものが欲しい。
45	たまたまアンコール放送で「大恋愛」をみました。老人で病気と認知の家族をトリプルで抱えていたこともあったので、ドキュメンタリーとかその類は見るのも嫌だったのですが、深夜なのにキャストにつられて、見ました。ドラマなどを利用したソフトな啓発も、いいものだと思います。メディアはもちろんのこと、商業施設などとのコラボを本気で取り組んでみてください。
46	どういう状態になったら認知症と言うのだろうか？
47	どこから認知症なのか判断がむずかしい
48	どこに相談出来るのか、今から考え、子供達に知らせておきたい。
49	とても身近なことです、きちんと認識していませんでした。勉強していきます。
50	とても難しい問題で、その家庭だけでは解決できません。社会が認知症について知り、みんなで助け合い、みんなで見守る事ができる社会が必要だと思います。
51	とにかく認知症になったら、大変になるし、家族は苦勞する。ならない方法が大事。なるべく運動、自然の中で、趣味をしたり、外にできることが大事。地元の公園は散策するにはいいと思うが、全く整備されていません。管轄はどこだか知らないが、もっと年寄りや、いろいろな人が楽しめる公園になってほしい。荒川も近いのだから、釣りやボートに乗れる、また食事ができる場所、いろいろ考えられると思う。ぜひ県の力で活性化してほしい。認知症対策にもなると思います
52	とにかく認知症は周りの理解が大切だと思うので、偏見や差別のない社会の構築を切望致します。
53	とにかくにもまずは金
54	どのような支援があるのかなど何もわからないので、基本的な内容を周知するような冊子みたいなものがあると助かります。
55	ともすると、認知症の人を抱える家庭は、隠したがる傾向があり、非常に苦しんでいる方がおられるのではないのでしょうか。早く、認知症を抱える家庭への援助ができるシステムができるとよいと思います。
56	どんどん増加傾向の認知症、心配です。
57	どんな形でもいいので、認知症になった本人と周りの人が皆、幸せに暮らせるような支援策を期待します。当事者の経験に基づいて、日常の些細な困りごとから、大きなものまで支援が届くように。経験しなければわからない瑣末なことが積み重なって、大きな負担になると思うので。
58	なかなかピンとこないテーマでしたが、このアンケートをきっかけに少し考えてみようと思いました。
59	なかなか当事者になってみないと分からない。
60	なってみないとわかりませんが、補助などの助けが必要かと思います。
61	ならない為に年に1度の脳神経外科でMR-1検査と診察を受けていますが、高齢者だけの病気ではないので難しいと思いますが、定期的な検査で減らす事は出来ると思います。
62	パート先のおばさんが親の介護を理由に退職しました。とても社交的な方だったので人との接点が減ってしまったことが気がかりです。身内を介護する選択で失うものを減らせたらいいいと思います。
63	プライバシーの確保の問題はありますが 皆で見守る社会にするには識別することが必要です。最近出ている妊婦のマーク等に類似するものの装着等をする必要があると思います。あけっぴろげにやってもよいのでは。
64	ふれあい いきがい つながりあい といった日頃からの地域の交流が福祉のポイントとっております。その啓蒙の土台こそが自治会であり、その活性しだいで認知症にかかわらず、災害時を含めた助け合いにつながるのではないのでしょうか。一気にはできません、地道な日頃からの心掛けです、貯金は一気には貯まらないのと一緒です。

65	ボランティアでパトロールをしていますが、気になった人がいた場合の対処方法とかを指導してくれる講座などがあれば、全体的に活動がしやすくなるように思います。
66	ボランティア活動の開発と支援体制です。
67	マスコミで認知症に関する様々な事項が取り上げられ知識としてはそれなりに持つようになりましたが家族が発症した場合どう対応すれば良いのかイメージがわかりません。
68	まずは、認知症についての理解を、家族や近所に広げることだと思います。具体的な支援策については、当事者の意見や要望を聞きながら進めていただきたいと思います。
69	まずは認知症がどういう病気なのかということの啓蒙活動だと思います。そして、その予防のために必要な運動、食事、社会活動などを実施してもらうこと。
70	まずは認知症に関するセミナーなどがあれば、積極的に参加する事かと考えます。
71	まず家族が介護で苦しむことがないようにしてほしい。次に介護等に携わる人の待遇を大幅に改善してほしい。 介護を担う人を尊重しない社会では未来が見えない。
72	まだまだ、分からないことが多いので、もっと誰でもが理解できるようにしてほしい。
73	まだら認知症になっているようなので、真面目に近い将来のこと考えないとと思っています。概要の説明が受けられる講座など紹介してほしい。
74	まだ確認していないが簡単に受診できる認知症外来の情報欲しい
75	まだ世間では人ごとの様な部分が多いと感じています。特養などのほとんどが認知症の方々と伺っています。施設に入れないと話もあります。施設の増設を急務としていただいて認知症の方々以外の人にも安心して施設に入れる環境が整うことを望みます。 ケアする人材の確保、育成も必要に感じます。 働き手にも手厚い環境が出来ればいいですね。 また認知症サポーターのような取り組みももっともっとPRしてほしいと考えます。 受講者が少ないと感じました。健常者の理解や協力も今後大切になると考えています。
76	まだ認知症について知らないことが多いので、啓蒙活動を更にお願いたします。
77	まだ未知の世界なのでおいおい勉強していきたいと思う。
78	みんなで見守る優しい社会になって欲しいです
79	もうすぐ還暦。主人に先立たれ、子供も甥・姪もなくて、頼れる家族が誰もいません。認知症にだけはならないよう気を付けていますが、何をどう頑張ればいいのかやら。成年後見人制度に申し込めばいいのですが、費用が毎月掛かるというのでどうしたものかと思っています。詳しく教えてくれるセミナー（銀行とかが主催でないもの）が身近にあったら行きたいです。
80	もし自分がなったら 年金が少ないので 介護施設などに 入れないって一番心配している。 息子夫婦に迷惑がかかりそう。 昔 母親を 老人福祉施設 老人ホームに御願した 経験があります。
81	もしかして、あの方は少しおかしいと思った時に、どのように接したり、どのような支援、何処にお知らせしたら良いかなど、本人は自分で自覚はなさそうですので、どのようにしたら良いかと思うことがあります
82	もし自分が認知症になったらまわりの人に迷惑かけたくないし、税金使ってもらってまで生活環境を充実して欲しいと思いませんので安楽死を希望します。
83	もっと、SNS(Twitter, Facebook, LINEなど)で発信
84	もっと地域の人に知識を広めて知ってもらいたい。 また、小中学生に認知症の理解を深めるための教育が必要だと思います。
85	より多くの方が成年後見制度を利用できる環境を整備して欲しい。
86	わからない
87	わたしは今回このアンケートで認知症のことを改めて考え知りました。 しかしこのような機会がない方も多いと思います。 そういった方々に知ってもらうべき活動を増やせると良いなと思いました。
88	わたしも認知症初期だと思います。忘れっぽいなど色々症状があります。各地域で集まり少しの時間、予防、サポートできるような場所と楽しく遊んだりできることが必要だと思います。難しいことをするより手遊びやゲームや体を少し使うダンスや塗り絵や小物作りなどがいいと思います。予防としてやるものは症状が重くなった人には難しいのでやさしく簡単なものいいのではと思います。私もそのような場を立ち上げようとしたのですが生活推進課の人にだれがそのような集りにくるの？と言われ断念しました。来ないよという意見でした。 それはばりばり働いてる人の気持ちであり病にかかった人の気持ちではないと思います。やはり皆で集まり楽しく過ごす場があつていいと思います。またそのような役に立つ場を広げてほしい。 またそのような関連のもう少し理解がほしいです。

89	安心して暮らせる社会 制度があると良い
90	安心して老いられる社会、認知症を怖がらない社会の構築を望みます。
91	以前、母が認知症になりケアマネージャーや地域包括支援センター担当者といろいろ相談もしたが、結局は家族への負担が大きくなるばかりで、介護保険制度やサービスの利用だけでは対応が難しかったことが今でも頭にこびりついている。毎日、四六時中、見張っていることはできないため、最終的には高額費用のかかる施設で診てもらうしかないのか？と、云うことになってしまう。今後、団塊世代が高齢化し、超高齢化社会を迎えた時には、このままでは制度自体が崩壊してしまう。その前に支援対策を十分に練っておく必要がある。
92	以前タクシーに乗った女性は「殺される」「どこ連れて行くの」「あんた誰」と車内で大声で怒鳴り散らして、もちろん息子さんが同乗しているのだが理解できない状態でした。初めて認知症の方と接したのだが余りの凄さに驚愕しました。この状態で24時間介助し続けたら息子さんの方が倒れてしまうなど危惧しました。介助の援助は必要と感じています。
93	以前祖母が認知症になり、しばらくは家族とデイサービスを利用し見ていましたが、両親は仕事、子どもも仕事や学業があり、デイサービスが休みの日などは見守りが大変でした。また、祖母の夜間の行動、徘徊等が増えるようになり、介護する家族も疲れ切ってしまいました。 仕方なく、何年かして特養老人ホームに入所いたしました。以前にも増して認知症は進み、車椅子生活となった祖母は寝たきりとなり、生きていけると言うよりも、心臓だけが動いているようで、無念さを感じます。 家族となら、異世代交流の刺激や気軽に散歩等もやれたと思います。 施設ではそこまでは手が回らず、孤独さと外からの刺激の少なさが、より悪化する原因になり得るのかなと疑問を持ちました。しかし、介護する家族の生活も維持しようとするとなかなか無理でした。 そう考えると、介護してくださる方のご苦労とありがたさも感じずにはられません。介護職の方は、見ず知らずの他人の面倒を必死に見てくださり、頭が下がるばかりです。なのに介護職の方の賃金は低いと聞きます。ぜひ、負担軽減や、賃金の値上げもまた、検討していただければと思います。 最後に、認知症になり得る原因が医療や科学によって明らかになるならば、予防策を早期に講じられる仕組みを整えると共に、施設入居にしても金銭の差に関わらず、入居者が人間としての尊厳を最後まで守られるよう、努めていただきたいです。
94	医療機関、介護機関に関わらない方などは、認知症すら発見されない（核家族）。素人のご近所さんでは、なかなか判別出来ない訳だから80越えたら保健婦師のような人が必ず家にで会話をするようにすれば、発見のキッカケや予防のチャンスにもなると思います。
95	医療制度、支援制度の公費による拡充。
96	一口に認知症と言っても、おとなしくしている人、暴れる人、出歩く人、やたらと部屋を汚す人等いろいろなタイプがあるので、それぞれ具体的な対応の仕方を教示してくれる所（人）が欲しい。
97	一社会人として、自分として出来ること、その準備について、引き続き知識を深めたい。
98	一人歩き模擬訓練を数回体験しました。認知症のためには家族を含め地域の方の理解が必須と思いますが、多くの方が認知症の家族を隠す傾向にあります。まずは隠さなくてよい世の中になることですね。
99	一人暮らしが出来るように
100	一人暮らしなので、このまま認知症になった場合、日々の生活などに不安があります。
101	一人暮らしなので「認知症未達の段階でなので手を打ちたいのだが、色々調べると、遺言信託と任意成年後見人制度を利用しても、”身元引受人問題”が残ることがわかった。法的な穴になっていると思う。何とか解決してほしいものである。 正体不明の”NPOや何とか事務所”があるのは承知しているが、いつ認知症になるか、いつ死ぬかが不明なわけで、長期間にわたる契約が維持されるかどうか不安を感じる。信託銀行と契約できるようにならないものか。
102	一人暮らしの高齢者や高齢者夫婦などに対する支援策が行政として遅れている。社会福祉協議会の食事サービスのボランティア活動をしていた際、特に一人暮らしの高齢者の孤独な日常生活は、あまりに単調で、認知症の症状が、短期間で進行しているのがよくわかる。デイサービスを利用してもである。日常的に人との接触による進行抑制があると思えるのだが・・・
103	一人暮らしの人でも、安心して認知症と向き合って生活できるような支援がこれからは、特に必要となると思います。
104	一人暮らし認知症はコミュニティで支援すべきと考えるが、個人情報として公にされないため事故につながる。是正したらどうか。
105	一般の人への周知、理解を持っていただくこと、政策が大切

106	引きこもり、社会参加、地域活動参加、等事前の予防策があるのではないのでしょうか、少なくとも、可能性を事前に、数年間が通常通りの生活ができる事を高齢者に自主的に、知らしめる事例等を広報する策があるのではないのでしょうか。
107	遠い先の事だと思っていたが、私もあと20年もすれば…？ 今のうちに何かを備えたいね。その何かが分かりませんが。
108	何かとお金がかかりそうなので、お金に心配しないで済むようにして欲しいです。
109	加齢による認知症の発症は避けられるものではなく、誰にでも起こるものとして当たり前の人間関係を継続していきたい
110	家族がいない認知症の人になりそうで怖い。
111	家族が軽度の認知症のため、いろいろ問題行動をしているので、対応に苦慮している
112	家族が認知症になった、という知り合いから話を聞いていると、家族の精神的な負担の大きさを感じます。認知症になった本人の支援はもちろんですが、認知症のサポーター達が、自分自身の健康を確保できるような、サポーターに対するサポートというものが充実させてほしいと思います。
113	家族が認知症になった場合の、対応について、具体的に示した小冊子等、認知症に関する啓発資料の充実が望まれます。
114	家族が認知症になり、身近で感じている。 老老介護なので、家族の他にも助けてくれる人がすぐそばにいてくれると、安心できる。
115	家族が認知症を恥と思う傾向があり啓蒙活動が必要と思います。
116	家族だけが抱え込まないですむように、認知症に偏見を持たないように、地域の人々が認知症の知識を習得し、支え見守れる仕組みを作っていただくことを望みます。
117	家族だけでは認知症の人の面倒を見ることはできないので、家族以外の方が面倒を見るのがベストであることをもっと発信して頂きたいです。
118	家族だけに負担がかかるのを何とか避けることができるような支援体制になることを望みます
119	家族での介護は無理です。
120	家族での見守りは、症状により難しい面がある。 公的なグループホームのような施設の増設は必要かと思います。我が自治会内で、地域で、家族での見守りが可能な症状ではありませんので、無理があります。
121	家族などがひとりで抱え込まないように支援できる社会にしたいです
122	家族にしかわからないご苦労があることを常に察する埼玉県民の一人でありたい。
123	家族にも手に負えない状況が予想されます。専門の介護員がいる施設やグループホームの充実を望みます。施設は病院の形態に加えむしろ遊戯、体操、踊り、歌、器楽の設備を備えた施設がよいと思われる。
124	家族によるケアと同様に地域、施設の利用を進めて行ってほしい。身内だけだとケアする側のストレス、負担の重さに気づかないことがある。老老介護による心中なども悲しい話だ。
125	家族に経済的負担が掛からないよう支援していただきたい
126	家族に出来るだけ負担を掛けない方が欲しい (Q11の施設?)
127	家族に認知症！親族は認めたくないですね。でも現実となったら家族は真綿で首を締められるようなつらさが待っていますよね。そのところのケアが最も必要なのではないのかな。
128	家族の認知症の疑いがあって調べたときに、近所には知られたくない、どの様に調べていけばよいか分からず、大変でした。気軽に検索できる場所があればよいと思い、それをどのように調べればよいかを教えてくださいところは必要だと思いました。
129	家族の負担が少しでも軽くなればよいと思います。
130	家族の負担の軽減策をもっと考えて欲しいです。
131	家族の負担や本人の心のケアを充実させていけるような仕組み作りを期待します。
132	家族の負担を軽減する施策を期待しています。
133	家族の負担を減らして金銭的にも迷いなく公的支援を受けられる仕組みや相談窓口の増設
134	家族は認知症になることがなかったので、正直言って知っていることが少ない。非常に苦労している方と、そうでない方で、理解や知識に格差が大きいのではないかと思う。社会全体のテーマとして、推進を期待しています。
135	家族への負担を少なくできる支援と、本人が自立でき活動できる施設の充実をお願い致します。
136	家族を含めて人に迷惑をかけたくないので、もっと入所施設を増やして欲しいです。

137	家族内に症状があると家族の人は隠そうとする。恥ずかしいとか申し訳ないとかそういう考えでは患者さんに対して失礼に当たる。しっかり現実をみて社会のシステムを大いに利用し、ケアマネに相談し、家族と地域社会で見守っていく必要がある。これから1人/5の高齢化社会の認知症が増加予想されている。自分もいずれお世話になるかもしれないという意識で生活して頂きたい。
138	家庭で面倒を見るのは無理
139	過去には親の成年後見人となった経験もあり、また、現在は市民成年後見人として活動していますが、この度の新感染症の拡大防止への対応によりその活動への制約が甚だしいものがあります。100年に1度といわれ、大いに苦慮しております。何かヒントとなる情報をご提供いただければ幸いです。
140	介護サービスの充実
141	介護する家族などへの支援の充実。
142	介護する家族の暮らしが壊れないよう、特に有職の人が仕事を辞めずに介護ができるよう支援が必要です。
143	介護する人のケアが欲しいです。
144	介護では経済的な負担が大きい。 十分な預貯金がないと、十分なサービスは受けられないと分かった。 また、今回のコロナで大野知事を頼ることはできないとわかり、大変がっかりした。
145	介護で家族が孤立しないよう地域の責任としてみんなで見守る制度を見直しするべき。時代にそぐわない自治会制度があり会費を払っているのだから。
146	介護に携わる家族の負担を低減できる取り組みや仕組みの充実。
147	介護に携わる人も大変辛いことですので、その相談が出来る様、国、市町村ができる様お願いしたい
148	介護は1人では対応に限界があることなので、気軽に相談や介護者の気持ちを言える場があれば良いと思います。
149	介護施設に母親が入所していたが、インフルエンザで面会が出来なくなり、解除されたら病状が悪化していた、治療する場所でないの・・・、でも、症状の変化と対応は、しっかりとしてほしかったです。
150	介護施設への入居者の後見人として複数の施設を訪問するが、施設により対応（サービス）のバラツキが大きい。もっと定期的に監査して指導をして欲しい。
151	介護者への精神的、経済的、両面のケア充実を最も期待します。あとは軽度の認知症の方々が受け持てるような社会的役割とその雰囲気を作っていきたい。
152	介護職員の給料等の待遇改善
153	介護職員の方を知っているのですが、人手不足が大きい問題だと思っています。これからは更に高齢化が進むので、人材育成に力を入れていただきたいと思っています。
154	介護保険サービスを中心に認知症の人は地域が見守り、支援が今よりもっと充実してくると暮らしやすくなると思います。
155	介護保険を使いやすくしてほしい。
156	介護離職を防ぐための労働環境づくりを確立してほしい。また、特効薬の開発も急いでほしい。予防ばかりを言うと、予防できなかった人への偏見が助長されるので啓発は考慮が必要。
157	回答していくうちに、実は何も知らないんだなと自覚しました。 質問7なども、手伝いたくても、金品がなくなつたと言われたりどこかへお連れしても何かトラブルになったら嫌だなとか、恐れをなしてしまうのも無知のなせる業かも。 身近に起きた際に対処できるよう知れる機会があるといいと実感しました。
158	外国では認知症の人のための村をイメージした施設があるそうです。村民は、患者さんと職員さんだけ。なので自由に徘徊もできるし、安心して「普通の」暮らしができるそうです。そういった施設の建設や建設に対する支援を行政が検討してみてもいいのではないのでしょうか。
159	各自治体で地域での活動支援策の充実を図ってほしいと思います。
160	核家族化が進み自分のような知識だけはあっても具体的な支援策など知らない人は多いと思うので認知症予防や支援策などが身近になるといいと思います
161	学べば学ぶほど、等しく誰の身近にも起こりうることだと感じています。自分のためにも家族のためにも、地域のことをよく知り、ときには他社の手も借りながら、また、できることがあれば自分が協力し参加しながら、身近な問題として今後も学び、知識や理解を深めていきたいと思っています。
162	学校教育の中で高齢者や認知症について学習してほしい。高齢者を嫌がったり、認知症の方たちを馬鹿にしたりしないような理解を深める教育を望みます。
163	企業などの定期健診で認知症検査が必須になるといいと思います。
164	寄付する人々への優遇策を充実する（広く動機づけに力を入れる）



165	希望すれば施設に入ることができるくらいに施設を作ってもらいたいが、施設の職員に余裕がないと利用者に被害が及ぶと思うので注意してもらいたい。認知症になったら、笑って暮らしていきたいです。
166	気軽に相談出来る窓口の開設、ネットによる相談などハードルを低くしてほしい。
167	気軽に相談できる窓口や施設を増やしてほしいです
168	気軽に相談できる体制が必要
169	義母が認知症です。私の住んでいる市町村とは別の（埼玉県内）市に住んでおります。義母は色々援助を受けさせて頂いてますが、これが今自分の在住市町村だったら受けられない支援もあるようです。そのように県内でも地域によってだいぶ差があるように思いますので、均等になると良いと思います。
170	義理の母親が大阪市に住んで居て認知症を患っておりますが、各組織の方が情報連携されていて安心して介護支援して頂いております。埼玉県も同様に各組織が情報連携して安心して介護支援して頂ける仕組みを構築してほしいと願っています。
171	極力認知症を出さない施策を講じる。
172	緊急時に支援金どころかマスクすら送れない行政に期待出来ることはありません。新型コロナの影響で仕事がなくなり無職になったので就活に精一杯で、直接関わりのない介護に目を向けるのは今は無理です。
173	近親者に認知症がいても直接関与しなければ詳しいことを知らないのが実態。出来るだけ多くの方が分かる様な仕組みや制度を作るのが重要だと思います。
174	近年になってテレビや雑誌で取り上げられ、身内だけではなく、誰でもかかる可能性のある病と思います。介護してた時、家族会の交流会が時々地元で催されました。参加の度に泣いたものでした。
175	近隣で、行方不明、尋ね人の地域放送が良くある。GPS機能を持った機器を体のどこか（腕輪？）に取り付けておくことが出来れば、捜査、探索も簡単だと思う。デジタル活用時代です。
176	金もヒトも減る世の中で出来ることは限られるだろうなと思っています。
177	金銭的な負担がどのくらいなのか、とても気になる。今後、自分のような身寄りのない人間がどうしていけばいいのか、どうするべきなのか、考えてしまう。
178	金銭問題がネックになっている場合も多く見受けられる。本人が認知症と認めることをかたくなに拒否する場合、徒歩圏内で共同生活的（非管理）住居『憩いの家』的なネーミングにするなど、当事者が拒否しない建物、スペース、施設の名前が必要。
179	経済的にも安心して治療が受けられる環境の整備を期待します。
180	経済的支援の拡充・確保（総合的なケアシステムのより一層な推進等）
181	軽い認知症の母を老老介護状態で1人で見ていましたが、口論が絶えず以前では考えられないような暴言を浴び精神的に追い詰められました。母の主治医の助けがあり現在は有料老人ホームに入居しています。介護した経験から言えるのは、1人での介護は負担が大きすぎることです。24時間認知症の人間と付き合うと、心が殺伐としてきます。専門書などには認知症の相手には逆らわない事と書いてありますが、その場に直面すると不可能です。幸いにも有料老人ホーム入居の金銭的問題もなんとかクリアできましたが、ご主人を私と同じような状態で介護している知り合いがいますが、年金を2/3もっていければ生活できないと言っていました。とにかく1人で介護している人へのサポートをお願いします。
182	軽度の認知症状の人の早期発見 発見後、早い時期からの本人、家族に対する支援を開始する制度の設計
183	結局、他人は他人事なので、必要な対応を提供してはもらえない 。結局、お金がないと何もしてもらえないのがこの国の対応なのだと実感している。
184	健康寿命を意識して、少しでも認知症の発症を遅らせるよう、日々の生活に努めたい。
185	現在、介護の真っ只中です。 はっきり言って、よくわからないのが現状です。
186	現在、認知症に対する施設費が高額すぎる。 我々の世代は金銭的に余裕がない。 低額で利用できる施設の増設が望まれる。



187	現在、年配者と同居していますが、認知症とは診断されていなくても、若干の物忘れなどがある状態で、出来るフォローをしている状態です。やはり家族の支援も必要だと思います。
188	現在、友人のご主人が7年前に若年性アルツハイマー病と診断されて、2年前から自宅とショートステイを利用して家族が面倒を見ています。私も、昔から家族ぐるみのお付き合いをしているので、夕方の散歩に、我が家の犬も連れ立って3人で、行っています。1時間余りの散歩ですが、ご主人は、黙々とあるいて、時折犬とかかわってくれます。奥さんである友人は、私と話すことで、いくらか気分転換になってくれたら、うれしいです。些細なことしかできませんが、つ常に自然な形で、接しています。
189	現在80代半ばの老人で、この症状の体験は記憶力の衰えが自覚される程度であるが、友人の何名かの施設入院の連絡が入ることが多くなり、可能な限り認知症が遠くなる毎日の有り様を考えるようになった。 もちろん経済的にも過不足の無いように心構えを継続するように生活している。
190	現在は問題ないが、いつか突然に変異が見られたらと思うと元気な内に準備等心構えをして行きたいと思います。
191	現在介護サービスを受けている父がいます。 認知症の検査はしなくていいのかと思うものの、母は必要ないとの一点張りです。 気軽に検査が受けられる世の中やシステムが出来るといいなと思います。
192	現在私の妻が市役所の専門家から、「あなたの妻は認知症の初期段階である」と知らされた。物覚えが全くなく、更には自分の息子の顔さえ忘れてしまう程に進行しているのが現状であります。年齢は85歳80代半ばです。従って日常生活に支障をきたしており、家事一切を自分一人で賄っております。食料品買い出し、食事の準備から後かたづけ、寝床の準備から朝の整理等時間がいくらあっても足りないほどに多忙を極めて老体に鞭打つ毎日であります。我が家の庭木の手入れもままならず、近隣の方々に迷惑ではないかと思ひながら暮らしています。玄関前の庭木の整理に「人手の援助が欲しい」と考えていますが、その手立てを援助して頂けないものでしょうか。わずか六万円の年金生活では資金の捻出もままならぬ苦しい状況です。ご互助精神に則りご助成を願っています。
193	現在自分は健康と思っている。パソコンもある程度人に聞かずに操作出来ている。ポケてはいないと自分では思っているが、ある日突然症状がでてきたら、その時はその時のことかなとは思っている。後期高齢者健康診断には認知症診断が無いように思っているが、なぜか？追加してほしい。
194	現在自分も含めて該当する人がいないためなかなか対応について知る動機が薄いが離れてくらす両親や今後の自分や家族を考えると少しずつでも知っていきたくと考えます。
195	現在税理士登録をしています。しかしながら後見制度を行うには研修時間が長く、かなりハードルが高いです。県や市で1～2日程度の研修で後見人として社会貢献できるのなら積極的にやってみたいとは思っています。
196	現在独り暮らしですので、社会との繋がりを維持していくようにしていきますが、変化に気づかないで認知症が進むこともあると思います。 そのような独り暮らしをどのように支援していったらいいのか、気がかりです。
197	現在隣人が認知症です。時々徘徊して近所の方達と探したりしています。明日は我が身と考え、自分にできるお手伝いは何かと考えています。
198	現状で十分対応していただいている。 ただし、うちの場合もそうだけど、父親がアルツハイマー発症していることを3年近く隠して車を運転していたので、家族への医師からの連絡を義務付けて欲しい。
199	現状認知症及び認知症予備軍を含めると約800万人との報道を聞いたことがあります。また、認知症は脳機能障害や一部の感染症から発症する場合を除き、徐々に進行する病気で、予防については基礎疾患の除去ですが、これは難易度が高く、基礎疾患とも上手く付き合い、早期発見・早期治療と地域コミュニケーションで脳の活性化をしながら、ある程度の日常生活を維持し続け生活をして、この病気に対応していく必要があります。ただ、有効な地域コミュニティと言っても、行政や医療が何処まで関与して行くか、難しいのです。地域コミュニティ作りに関心のある方・興味のある方に手を上げて頂き、実現可能な支援（公共施設の優先利用等）を企画して頂く事ではないでしょうか。
200	後期高齢者ですので、なるべく認知症にならない様、PCゲームや運動をする様にしている。
201	幸いにも高齢の両親は認知症ではなく、むしろ認知症の傾聴ボランティアをしているが、もし両親が認知症になっても仕事や受験生の子供をもつ身としては介護は困難。特に母は人と接するのが好きなので、グループホームとかいいなと思っている。 プライドが高すぎる父は介護施設しかありえない。
202	広報による情報をお願いしたい。地域での対応を知ることが必要ですね
203	考えたことがない

204	<p>行民連携の拡充、拡大。 特養やグループホーム等への経済的支援。 若者ボランティアの育成。 見守り機器などの周知活動。</p>
205	講座
206	講座等があるがなかなか参加できない。オンライン講座もあってほしいと思う。
207	<p>高齢者の増加は、統計的に確実な現象なので、認知症のに対する予防対策及び介護をする家族への支援、認知症を発症した本人に対する介護対策を地域全体で考えることが必要であると思います。</p>
208	高齢になりいつ認知症(発症)になるかわからない。ちょっと心配である。
209	高齢化に伴い認知症患者は増加の一途だと思います。支援制度の充実を望みます。
210	<p>高齢化の為、認知症になりやすい可能性も高くなると思われるので、暮らせる施設やグループホームの増設が望ましいですね。</p>
211	<p>高齢化時代において国、地域、家族にとってこれからますます重たい課題と成ってくる。それには、家族関係、地域関係での関わりをどう維持、深化させ、あるいは発展進化させていくかに罹っているのではないかと。 支援制度を作るのみならず、個々人の人間性溢れる精神と人の尊厳を一心に捉えることができるような人間教育を深めていかなくてはならないのではないかと。</p>
212	<p>高齢化社会がどんどん進んでいるため、積極的に具体的な対応、分かりやすい支援をしてほしい。認知症家族を孤立させないようにしてほしい。</p>
213	<p>高齢化社会が加速して、家族の介護には限度があります。町会や近隣が身近で1番目が届き易く支援し易いと思います。 町会近隣の組織拡充、管理システムなど協力体制を県指導で画策してください。</p>
214	<p>高齢化社会のなかで、自分中心に行動をとることは良いものの、もう少し地域社会に関心を持って生活することも重要です。</p>
215	<p>高齢化社会の中、施設などの入所が困難で自宅で介護しなければいけない家族もいます。介護認定も地域で差があるように感じています。老老介護をしている家族を見るたび共倒れにならないように地域でしっかり見守り対応をお願いしたいです。</p>
216	<p>高齢化社会を本格的に迎えるにあたり、5年後10年後における認知症の人は多数になると思われる。それに向けて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 予防のための啓発</li> <li>・ 見守る家族の心構えと相談相手についての啓発が今以上に必要と思う</li> </ul>
217	<p>高齢社会になり、元気に過ごすという良いこともあるが、認知症も心配になる。 良い方向の社会になってほしい。</p>
218	高齢者が沢山増えた今の状態で認知症対策は非常に重要だと思います。
219	高齢者には欠かせない問題にて、自分自身もこれへの対応していけるといいなと考える。
220	<p>高齢者の数はうなぎのぼり、認知症の治療医学でなく、予備軍にならないために予防医学に予算を回して欲しい。つまり政策に金を掛けずに知恵と工夫を出して下さい。 未来の子供達に負担がこれ以上かからぬようによろしくお願いいたします。</p>
221	<p>高齢者介護施設では、一部認知症患者を拒否するところがあると聞きます。 施設の充実を望みます。</p>
222	<p>高齢者増え子どもが減るのだから、社会がまともに働ける気がしない。人不足だし財政難。結果家族に負担がかかる。ボランティアにも限界があるので、認知症にならないための予防に若い頃から努めることと、一人ひとりの状況に合った場所を、見つけることができればと思う。</p>
223	<p>今、新型コロナウイルスの影響で巣ごもりによる認知症の進行が進んでいる。早急に会話や散歩、運動といったリハビリが必要。介護職員への手当の拡充などにより増員することも必要。並行して認知症サポーターなど市民による会話や散歩といったリハビリへの参加の仕組み作りを大至急始めないと認知症の進行が社会的に進んでしまう。</p>
224	<p>今、地域の関係部署から「介護予防」についての意見を求められています。「認知症支援」よりも「介護予防」という問題設定のほうが、幾分当事者視点に重きが置かれているかなと思います。若い頃、先輩から聞いた話に「包丁を持って自分で料理しているうちは、ボケない」という説がありまして、守っております。まったく私ごとですが、このアンケートに答えながら、地域のスタッフに求められている答えが少し見えてきました。逆にいえば、私の回答が今回のアンケートの参考になったかどうか。</p>
225	<p>今でも、1人暮らしのお年寄りが多い。認知症になっているのに気づかないで放って置かれた時、誰が面倒をみるのか 家族がいれば良いが居なかった時どうなるのか心配。面倒をみる家族も高齢者になるので、さらに負担が大きくなると思う。一見普通に見えても認知症だと気づかない人もいるし、判断が難しい。</p>

226	今はまだ認知症による介護については心配はないですが、自分の親になった時、体力的に見られるのかどうか心配はあります。介護ってとても大変な事だと思います。イライラしたりされたり、心を平常に保つ秘訣や考え方などメンタル面の救いがあると助かると思います。
227	今はよくわかりません。
228	今は実感が無いので、申し訳ありません。
229	今は周りに(特に家族に)いないので想像もつかないですが、もし親が認知症になった場合、どこへ相談すればいいのか一切分かりません。生活もガラッと変わるような気がします。
230	今まで縁がなく過ごしてきたが、だんだん身近な問題になってきたと思う。少しずつ知識を広げていきたいと思う。
231	今まで考えたことなかったが親も妻も自分もそうなることを想定しなくてはいけないと思います。
232	今後 対象者が益々増加することは 明らかです 家族 地域 行政 全ての 人々で 対応すること が必要と考えます。
233	今後、患者数の増加が見込まれていますので、社会全体として取り組みを強化していく必要性を感じます。
234	今後、高齢者化社会が進む中、認知症に対する相談できる施設等を増やしてほしい。
235	今後、認知症が増えていく可能性があると思いますが、県の施策についてどのような内容かを確認したいと感じた。どのような計画で、どのようなサポートがあり、サービス内容について知っておく必要があると思いました。
236	今後、本性上の増加は必至ですので安心して暮らせる本人や家族などへの支援拡充を求めます。
237	今後は 施設利用は減少すると思う。 お金持ちしか 施設利用はできないので 国民年金で はいれる 施設がない または 条件が厳しくて 入れない利用者が たくさんいる。 4万円前後で 入れる施設 または 医療費・宿泊費・雑費・食費を含めて その程度で利用できる施設がないので 国や 市町村 都道府県に 税金をそちらへ 投入してほしい。
238	今後ますます高齢化社会が進むわけで、欠かせないのが専門医の充実と医療機関の充実です。県のリーダーシップが必要です。
239	今後ますます必要になってくる
240	今後増加が懸念されている少子高齢化に伴う深刻な課題だと思うし、いつ身近な問題として接することになるか考えると不安を感じる。しかし、こうして県や市町村に相談できる仕組みがあることを本アンケートで知ることができて、少し安心した。これまでは他人事な話題であったが、今後の情報提供を気に掛けるようにしていきたい。
241	今後単身の高齢者が増えていきます。その場合、身寄りがなかったりすると周りのサポート体制がないと生活していけません。個人情報などの問題はありますが、そうした点を考慮したうえで地域としてのサポート体制の拡充が大切だと思います。特に、子供のころからそうした教育をすることで認知症のお年寄りを見かけた場合にみんなが対応できる体制ができるのではないのでしょうか。いまは、知らない人に声をかけてはいけないとか、コロナの影響でますます人との距離が離れているのが現状ですので、今まで以上に一人一人の心掛けが大切になってくると思います。
242	今後認知症支援はますます必要になってくるので、支援策の拡充が必要と思うし、自分たちでできる支援があれば支援したい。
243	今後老人社会になると認知症の人も多くなると思います。それに対応する社会的な支援体制が今後の問題です。
244	今私の周りに該当する人がいないので、正直に言うと実感がわからない。自分がそうなった時が大変恐ろしい。
245	今自分に出来るいろいろな事に日々努力していきたいと考えています
246	今住んでいる地元市でも毎日のように認知症の高齢者と思われる行方不明者の捜索の防災放送が流れています。親族に認知症は出ていませんが、以前は仕事でたくさんの認知症の方とお会いしたり、支援もしていました。これは病気なので、誰もがかかる可能性があるという認識と、治療方針などの具体的な提案をしながら不安を払しょくしていく必要があります。正直なところ、自分がかかったらまだ正気を保てるうちに最期への準備を進めたいと考えています。家族とも相談しておかなければならないですね。
247	今認知症にかかっている人への手厚い介護はもちろんですが、これからいかに認知症にならないようにするか予防策を常に発信してほしいと思います。
248	差し迫った認知症対策は必要ありませんが、いざという時にどうすれば良いかを認識していないといけないので、広報活動をお願いします。

249	最近、隣の奥さんが脳の手術により、認知症を併発したため、配偶者の怒鳴り声を良き聞きました。また、自転車で出かけ警察の支援があったこともありました。役所に気軽の相談できる部署があると良いなと感じました。今の役所は杓子定規です。よろしく願います。
250	最近若年性認知症の方の手記を読みました。多くの方々のサポートによって普通に生活している様子が書いてありました。ご自分も工夫して暮らしており大変参考になりました。オープンにして地域で生活していけるのだと思いました。早期診断、相談窓口の充実を望んでおります。
251	妻を7年前に失い、自分が死ぬときは独りぼっちだと、予想している。認知症でなく、もっと体に直接ダメージを与える急病やケガを得て、速やかに死にたい。それまでは、現在の健康を維持していきたい!!! その為の見守りと、対応をお願いしたい!!!!
252	財政的に無駄
253	昨年、認知症の母を看取りました。多くの方に助けられ、とてもありがたかったです。
254	昨年亡くなった次兄に、軽い認知症があり、当惑しました。自分の親族に認知症の人がいるとは考えることもなかったです。自分の妄想に固執し、他人の言葉に耳を傾ける事はありませんでした。私には何もできず彼の妻、子供たちに任せるしか道は考えられなかったです。残念ながら、亡くなったときにはなぜかほっとしました。
255	山奥など人里離れた遠い場所ではなく、街の中心に、認知症を含めて高齢者や障害者など弱い立場の方が皆んなと一緒に住める住宅を作って、地域で見守れる体制を作る。
256	市の広報のアナウンスで、徘徊者の捜索について放送されるが、そういった方に、無線機着用することは、出来ないものですか
257	市の放送などで迷い人としてよく聞きますが、散歩しているだけなのか迷っているのか実際に見かけても分からないだろうし、どうしたらいいか分からず焦ってしまうだろうといつも思っています。もし、あれ?と思った時の対応方法や連絡先、声かけの仕方などが小冊子もしくは市報の特集などで広く地域の人に伝われば、早期発見に繋がるのではと思います。
258	市内でしょっちゅう徘徊して行方不明になっている年配の方がいらっしゃいます。家族で介護してる方が多いのかなという印象です。私たちがように子供がいない・非正規収入の世帯は家族だけで介護するのは費用的にも時間的にも難しいし、介護施設には費用がなく入れません。自分がその状況になったら夫が可哀想なので自ら命を絶つのがいいかなと考えています。
259	市役所などで、勉強会を、開いて、欲しいです。
260	市役所や出張所の機能を均一化するところから始めて欲しい。出張所の機能が少ないので、何を相談して良いかわからないことが多い。
261	支援する仕組みを充実。認知症における世間の認知度を上げる。
262	支援の充実化
263	支援金を出して家庭を守る。
264	支援体制の強化
265	施設・スタッフの充実。
266	施設ができて、なかなか受け入れてもらえないことが多い。
267	施設で働いていた家族がおります。噛まれたり暴力を振るわれたり、霊的現象も多々。それでいて月手取り20万いきません。認知症になって人のお世話になるくらいなら、私は死んでしまいたいとさえ思う。
268	施設は災害に強い場所に作ってほしい。
269	施設入居者の尊厳の維持や保証金の担保
270	死への恐れから、自己防衛としての手段として組み込まれたメカニズムとも解釈される認知症。誰も避けては通れぬ極めて難しい問題です。
271	私が、講座を受けたくて探した時には、近隣地域では開催されておりました。オレンジリボンを知っている人が少ないのと、ある程度の人数が集まらないと講座をやってくれないので、講座を受けたくても受けられない。講座の回数や、開催箇所の増加と、オレンジリボンの普及促進をした方が良いと思います。
272	私の近隣でも認知症の方は見受けられます。できるだけ支援はしたいと思います。
273	私の身内に認知症になったと思われる症状が出て、その後短い期間で亡くなったのですが、たとえ短い期間でも大変だったので(仕事・子供のこともあり、兄弟の助けもなかったのも...) 少しでも助けが必要だと思いました。

274	<p>私の祖母が4年ほど前に認知症になり、今は足腰も弱くなり介護老人ホームに入っています。</p> <p>私の母や母の姉は50代で、まだ子どもも家にいたり働き盛りの頃に認知症と分かりました。</p> <p>祖父は私が幼い頃に亡くなり、祖母の一人暮らしでした。私の母と母の姉が、毎週交代で買い物や病院に付き添ったりしていました。</p> <p>祖母は結婚してからずっと住んでいた土地から老人ホームに移るのを、とても嫌がったそうです。</p> <p>比較的早期の認知症発見だったのと、母の姉が介護施設で働いていた事もあり、なんとか対処出来たそうです。</p> <p>早期の認知症発見、早期治療について、市からのサポートがもっと手厚く、認知症患者へのサービスの拡充が増えてくれたら嬉しいです。</p> <p>自分が働き盛りの頃に自分の両親、主人が認知症になってしまったら…まだ今の段階では不安がいっぱいです。</p>
275	<p>私は現在母親と二人暮らしです。母親のことは私が面倒見ますが、その後自分自身をだれが面倒見るのだろうかと不安になります。最後まで自立で頑張るつもりではおりますが、最終的には誰かに頼らざるを得なくなるのかな…と、思います。結婚せずに一人で来てしまった人用の小さなおうちで暮らせるコロニーのようなものがあるといいと思います。</p>
276	<p>私は市役所で勤務していますが、認知症の方と仕事で接したことがあります。独居の人が認知症になってしまうと、気づいてもらうまでに時間が掛かります。支援策として、こうした方々のサポートが多く必要だと感じました。</p>
277	<p>私は成年後見を業としている社会福祉士です。</p> <p>一般の人々の認知症理解もさることながら、ヘルパーやケアマネジャー・相談員、あるいはかかりつけの医師などの高齢者理解が低いことが多いという実態があります。</p> <p>そうした専門職の資質向上が急務です。</p>
278	<p>治療薬の開発</p>
279	<p>自己責任だが、今まで社会に貢献してきたと自負している。迷惑をかけて生きる事が、容認出来る地域デザインを希望する。</p>
280	<p>自治体の手厚い支援が望まれます。</p>
281	<p>自身が発症していないので、発症した場合どのようにするべきかなど、それほど真剣に考えていない。</p> <p>初期であっても何らかの症状が出てくれば真剣に考えるようになると思う。</p>
282	<p>自宅にいる認知症の人に入院が必要となったとき、付添が必要になることがある。特に年寄り夫婦で生活しているときに付き添いが必要になると、自宅に帰れずつきそいになってしまう。</p> <p>付添の交代などのサポートができないか。</p>
283	<p>自分がそうになったら、家族に迷惑を掛けたくないなので、施設の増設、薬の開発、介護・看護士の増員をお願いしたい。</p>
284	<p>自分になるのが心配。自由と自立と尊厳をもてるようにしたい。</p>
285	<p>自分がまた家族がなった時を考えるとどうしていいか心配。</p>
286	<p>自分が認知症かどうかの判断を教えてください。</p>
287	<p>自分が認知症になったと思われるときに気軽に相談できる場所があると良いと思います。（文字や最近の記憶が無くなる症状を自覚しているため。）</p>
288	<p>自分が認知症を発症しているのではないかと考える時がある。老齡？遺伝要素（実母がレビー小体型認知症であったので）？普通の生活には殆ど支障はないと判断している。</p>
289	<p>自分が脳卒中を再発して、施設利用が必要な状況になったため、若年利用者の行き場についても考えて戴きたいです。</p>
290	<p>自分でも、お手伝いできることがあれば、やりたいと思います。</p>
291	<p>自分で認知症と言っている割に、何でも今まで通りにしないと怒鳴る人なので家族も辛い毎日を過ごしています。田舎はそういう人を見下すので周りには相談できません。そういう地域ではどこに相談したらよいかとか誰にでもわかるように対策をお願いしたいです。</p>
292	<p>自分のことだと思って支援していきたいと思っています。</p>
293	<p>自分の場合を想像した結果で言うと以下のようなになった。自分が自分の認知症を理解できるよう手助けされたい。箱の中でケアされるのも仕方ないが、本当は外出もしたいたろうし、食べたいものを自分で準備して親しい人たちと食べたいだろう。一般家屋のような生活環境が望ましいので、地域丸ごと保護区のように安全な場所があるといい。しかし重度なら施設で専門職の人にケアされるべきかもしれない。早期で、行政等に助けを求められる状態ならよいのだが、自分の場合取り残される気がする。</p>

294	自分の親が認知になった時、あらゆるところに相談しに行ったが誰も助けてくれなかった。事件にならなければ警察は動けないし、役所やケアマネージャーはどうにもならない。助けてくれたのは地元のおまわりさんと病院だった。本当に困っていてもどうしたらいいのかわからなくて、今回自分の身に降りかかってよく分かった。ずっと我慢している家族で殺人が起きてしまうのが今なら理解出来る。末端の事情を理解していないとわからに事がまだまだたくさんある。
295	自分の親でも物が無くなったとか現金が無くなったなど疑いを掛けられたことがある。他人ではもっと難しい
296	自分の親に成年後見制度を利用しようと検討しましたが、主治医から意見書を書いたことがないので、と断られました。また手続き自体も煩雑だったので、申請を断念しました。手続きをする際に、弁護士や司法書士の方から安い料金で支援をいただけるといいな、と思いました。後見人になった弁護士が財産を使い込む、必要な費用も出し惜しみするなどの話を聞いたことがあるので、使い込んだお金が保護される、後見人を指導・監督する制度があるとよいと思います。 防災無線で行方不明者の放送があるたびに、どうなったのか気になるし、自分自身が発見のお手伝いを出来ないかと思えます。一方的に放送するだけでなく、実際にどういった状況であるのか、経過はどうなったのか学ぶ機会も欲しいです。それによって、行方不明を防止できたり、早期の発見につながるかと思えます。行方不明になった家族も心細いかと思うし、少しでも支援をしたいと考えています。
297	自分の祖母が認知症でした。その頃よりはだいぶ環境も良くなってきたと思えますが、まだまだ足りないし、その介護にあたる家族や社会の負担をどう軽減していくか、また認知症自体の回復への医学的な進歩を期待したいと思います。
298	自分の番になる前に、治療薬などの開発が進めばよいと考えます。
299	自分も70代半ばになり、認知症に関する情報は興味をもって収集し理解を深めてきたが、最近の日常生活で記憶や生活行動、言動に注意して、夫婦共々自己を振り返り、指摘し合っている。民生委員を担当することになり、認知症のセミナーに参加しようとしたが、新型コロナ問題でセミナー中止。 自分や住民のためにも、高齢化社会に対応した先取りした支援策を更に強化して、国、地方自治体の総合的な一体化した展開を図るべきと痛感している。
300	自分もいつなるかもしれないので。市役所や国の介護の充実を願うばかりです。
301	自分もなる可能性があるのでセミナー等近くの施設で受けられるような仕組みが増えればと思います。
302	自分や家族が認知症になったときに、対応できるように、これから機会があれば、勉強していきたい
303	自分や妻が将来該当することも十分あり得るし、予め家族間で話し合っておくことが必要と思うが、まだとってしまうので、症状発見の対応や介護にあたっての注意事項等の啓蒙の機会をもっと増やして、誰もが有る程度は知識として持てるようにしたいものだ。事例と対処方法について勉強できる機会を増やしてほしいと思います。
304	自分自身はともかく、周囲の人で認知症になる方が出たら、できる範囲の(無理のない)サポートはしてあげたい。
305	自分自身も家族へも認知症にならない努力(就労や福祉サービスの支援)を課して出来るだけ社会のお世話にはなら無いように努力しておりますが、いざとなった時の周囲の援助は助かります。政府としても援助お願いします。
306	自分自身も歳をとってきて、親はさらに高齢でいつなってもおかしくはないのですが、やはり考えたくない問題で、実際に親がそうなったとしたらあわててしまうと思います。自分自身が認知症になったときにどれほど考えが働くのかわかりませんが、もし迷惑をかけるくらいならと・・・思ってしまう。
307	疾病や障害は自分や自分に近い人にそういった人がいないと、なかなか気づけないので、知らせても差別や偏見を受けないような、周りに知ってもらえた方が苦しんでいる人が快適に不安なく暮らせる為の環境作りがとても大事だと思う。
308	質問11にあることが充実すると良い
309	質問11の項目すべて推進、充実、拡充、増設をお願いします。
310	質問7記載の通り、誰が認知症かわからないので事案が発生しなければ何もしようがない。声かけと言っても知らない人同士だとハードルが高い(認知症じゃない可能性もあるわけ)。調べたところ介護マークというものがあるようだが、一般に浸透していない…さらに言うとヘルプマークと違って実際に介護マークをつけている人を見たことがない。
311	実際になった時の相談窓口やセーフティネットの情報提供の充実



312	実際に家族として体験した人にしか理解できないと思われます。ここに書かれていることも所詮は机上の空論です。私は家族に同じ思いをさせたくない。根本的なことを解決する手段がない以上、一刻も早く「安楽死の選択」を法的に実現する、そのようなアプローチを模索して欲しいと切に思います。
313	実際に自分の身近な人が発症しないと情報を得る機会もないので、いきなり当事者になってあわてるよりも少しずつ知識として認知症支援について勉強できるといいなと思います。
314	実際自分の家族にいないとわからないことだらけだということがわかりました。少しずつみんなで助け合える仕組みができるとよいかもかもしれません。
315	実父がグループホームにお世話になっています。介護という大変なお仕事なのに、賃金水準が低すぎると思う。無駄な国会議員を辞めさせ、社会福祉に税金を回して欲しい。
316	社会に広く自分が認知症ですと言える社会になるとよい。
317	若年性も増えているし今後も認知症に対して優しい社会の在り方を築いてほしい
318	若年性認知症の方が今は寝たきりであるのを目の当たりにしたことがあります。もし、自分なら？と今でも思います。そうならない予防法などあるなら、どちらかで教えて欲しいとせつに願います。
319	周りが異変に気付き専門医の受診を勧めても、本人が現実を受け止められず進行が進むケースがあるように思う。定期的な検診等、早期発見ができるようなシステムを望みます。
320	将来、独居老人になると思うので、認知症にならないようにする予防策も入れて欲しい。
321	小、中学生の活動に認知症学習を特別講座として実施すると良いと思います。街ですれ違うお年寄りとのトラブルや、相互の誤解を防ぐことが期待されると思います。多くの人が正しい理解をすることで、認知症の人が暮らしやすい街になっていくのではないのでしょうか。
322	少しでも進行をおくらせるために有効な食べ物や食べ方、あるいは体操など、日常生活の中で少し工夫することで出来る取り組みを、専門家に語って欲しい。本だと限定的な人にしか伝わらないから、毎日3分でいいからメディアを使って情報発信して欲しい。
323	少しでも認知症に効く薬ができるといい。
324	少年法改正より先に 老年法が必要なのでは???何でも原因は 認知症では 解決できないのでは?認知症 認知症予備軍は 通る道だと思うので 真剣に取り組まないと。
325	症状の程度により対応が全く違うので、一般論は不要である
326	上記通り、個人情報ケアしながらICTを有効に活用できる制度や支援策を検討願いたい。ケアマネや施設の報告書なども未だに非効率になっていないのでしょうか?
327	新オレンジプランのより一層の取り組み前進と、その先を見据えた新たな政策に期待したい。
328	新型コロナウイルス蔓延の最中、認知症患者へのサービス提供は濃厚接触になりやすく、非常に難しい問題ではないかと思ひます。困った困ったと愚痴ばかりで、良い解決策が見つからない力不足の自分が情けない限りです。
329	親が認知症でやがて自分もと思うとやりきれない。
330	親が認知症なのでよく分かります。ぜひ公的支援の充実をお願いします
331	親が認知症になるかも知れない年齢になって来ている。今後の事を踏まえ、自分なりに調べて備えておきたい。
332	親や親戚の方で認知症が進んだら、施設に行くしかないとおもいますが、いざ自分が認知症になったら、施設には行きたくないと思ひます。個人の覚悟も必要だと思うし、認知症の施設の環境が現状悪い気がするので、施設の充実も必要だと思ひます。
333	親族で認知症で行方不明で家族が大変な思いをした。また、日々市内広報のアナウンスが流れているので、行方不明者が出ないような対策をしてください
334	身のまわりのことが認知症になる前よりおろそかになる印象があるので、身支度やお掃除ヘルパーの方が増えればと思ひます。
335	身寄りのない方、家族と疎遠な方の為にも施設の増設も考慮下さい。
336	身近でないとうかららない
337	身近な人がなった場合の対応方法があまり分らないので、もっといろいろ知りたい
338	身近な人が認知症になった場合に必要な知識を事前に学びたい。また独身など介助者がいない人が自分で準備しておける認知症への備えについて知りたい。
339	人それぞれケアの方法が違うので、家族や関わる方のニーズに応じていける環境が大事です。今はお互いが満足するのは難しい現状です。
340	人材、予算の確保といろいろ難題があると思ひます 我々のような時間的余裕のある年代からのサポートを模索しては いかがでしょうか?
341	推進計画は重要ですので、早期の作成を期待いたします。



342	世の中に絶望することが認知症の発症にもつながる。良い世の中を目指すことに協力されたい。
343	成人後見制度だけでなく、家族信託という制度があることをもっと告知してほしいです。認知症になる前に制度を選択し、残された家族が苦労しないような法制度を整えてほしいと思います。
344	成年後見人が、財産をとったという報道を記憶しています。これでは、困ります。
345	成年後見人は、「悪」に対する対処だけだ。善意が通じない制度だ。それに、輪をかけているのが、銀行だ。銀行の営業店は、キャッシュカードの有無さえ、教えてくれない。ところが、キャッシュカード紛失サービスへ電話をすると、それを教えてくれる。営業店が「変な正義感」をもって、勝手な規則を作っている。
346	成年後見人制度は本人のためというより、弁護士に仕事を与えるために制定された制度なのでは、と感じています。改正を望みます。
347	成年後見制度を勧めてもある程度健常なうちは「まだ早い」と断られ、いざ認知症の症状が発現すると手続きが取れなくなるジレンマがあります。また成年後見制度を本来法の番人であるべき弁護士が悪用し好き勝手手数料をむしり取る事例も見聞します。銀行における預金口座開設時に後見人は誰か、いざという時の手続きをどうするかあらかじめ想定し準備しておくような法整備が必要だと痛感します。個人的には実母にまだらな症状が見て取れるのが心配の種です。
348	成年後見制度を相談してきた人に勧めるのはやめた方がいいと思います。というか、この制度の問題点が多すぎて個人としては恐ろしい制度だと思っています。この制度は廃止したほうがいい。
349	正直自分自身認知症の事をそれ程深く考えた事が無かった。このアンケートを回答しながら認知症の事を考えてみたいと深く思った。認知症の事は本人は出来るだけ認めたくないと思います。周りにいる家族や親戚が気随付いてあげる事だと思います。そのためには認知症の事をよく理解出来る知識・対策を身に付ける事の大切さを改めて感じました。
350	昔から加齢により体調が変化することはあるので避けることができる人は少ないのでは？下手に医療等で長寿するよりは自然体で人間の寿命を大切にしたいほうが良いのでは
351	昔は聞かなかった若年性の認知症。新しい病気なのであれば、今後も増えて行くのかもしれない。身体的な健康は向上していても、認知症になる場合もあります。身体が健康であれば、認知症の状態でも長生きします。認知症が身近なものになっていますから、正しい知識と地域で支える仕組み作りを期待しています。障害者支援分野では、記憶に係る障害として高次脳機能障害があり、その支援ノウハウは認知症のある人たちの支援にも有効なものがあります。高齢者分野と障害者分野で、担当が異なると縦割りの弊害が生じることと思います。県としても、課を超えた連携を県民のために推進していただきたいと期待しています。
352	絶対に増えていくから、本当に対策を考えていかねばならないと思います。身内に認知症の人がいて、自分では面倒を見られないからどうするかとか。
353	先日、スーパーで見たことです。買い物に来たご老人が何を買いに来たのか、又は、商品名を忘れてしまったらしく、対応した店員も困っていました。対応した店員は、今度はメモして来てくださいねと、対応していました。始めは良かったですが、何度も同じ会話、同じ展開になるので、次第に苛立つようでした。このような場面にどのように対応すればよいのでしょうか？店員も暇なわけでないし、ご老人もわざとでないし、。ということで、日常に起こる場面で、顔見知りでない人がどのように対応すればよいのか、ちょっとしたことが知りたいです。何時間も講義や研修は必要ありません。テレビのCM程度で情報を出してくれるとありがたいです。
354	専門の方に相談したり、見守る。
355	専門医を増やしても、患者にもその家族にも助けにならない。物忘れの程度を検査すること（医者ができること）と、介護する側（家族も含め）の問題の乖離をまず医療従事者が理解する、もしくは理解する姿勢をもつことをしないと、結局何も変わらないし進まない。
356	全ての人が認知症になると考えるべきで、このようなアンケートをとるまでも無く、県の中に特別チームを作って政策を早く詰めて実行して欲しい。

357	全国で初めて、家族支援条例が議決されたのはいいのですが、認知症の方にも地域で生活できる環境整備が必要でしょうし、家族も「自分」を生きる人権が守られないと共倒れになります。セミナーや相談会では、家族がチームを作る（児童も学生でもできる手助けがあります。）というプログラムも必要。誰か一人に押し付けるから大変。近所もちょっとずつのお互いさまが大きな支えになります。学校の先生方にも介護家族の大変さを理解しその児童生徒を適切に見守る裁量を持つ研修が必要です。
358	全国民の共有課題となるような広報活動が大切かと考えます。
359	祖母が痴呆症です。今は全く記憶がなく赤ちゃんに戻っています。だんだん分からなくなっていく姿を見るのがツラかった。本人は楽になっているのか?!消えてしまった彼女の本心が知りたい。
360	祖母が認知症ですが、祖父は特に問題と思いません。ので、接し方も怒鳴ったりバカにしたり…こちらが何を言っても祖父は聞く耳を持たないので、そのような人にも認知症のことを知ってもらう機会があったら…と思います。
361	祖母の機嫌に左右される生活はまっぴらだし、母も定年の初老であるので、祖母と決別したいが見捨てられない。認知症専門の集まりでもあればいいのだが。
362	早期発見早期治療
363	早晚自分もそういう状態になるのは避けられないので、覚悟を決めねば、と思う。できるだけ身辺を整理し、個人データ（デジタルも含め）の引き継ぎを家族に行いたい。
364	相談できる場所や、手軽に入居出来る施設を増やしてほしい
365	相談先の質問で身近ですぐに話が出来相手を選択肢として選んだが、どこに相談すれば知りたい情報を最短で知ることが出来るのかわからない。適切な公共の相談先が広く周知されていれば嬉しいと思う。
366	相談窓口に関してはいい印象がありません。福祉担当窓口でかなり高圧的に話をされたり、役所の決まりごとに則ってしか話をすすめなかったりで・・・。認知症のみならず窓口では「相談」にのっていただけるように改善していただきたいと思います。
367	相談窓口の拡充
368	相談窓口の充実、ワンストップ化
369	相談窓口等の増設も重要だが、そういった内容の周知をすることも必要である。これからの高齢化社会で、当人のことだけでなく、その周りの人々に気を使っていかなければ、制度自体が成り立たないと考える
370	増えている認知症のひとたちへの支援を強化して欲しいですね。
371	孫と認知症の年寄りの漫才コンビのような社会が復活してほしい。
372	他人事ではない。認知症になっても安心して生活ができる社会の制度の充実を望む。家族介護は無理だから。共倒れになる可能性が大きい。
373	他人事ではないので常に交流の場に参加、一人にならないようにしている。そこでの情報、会話、笑い、運動などで健康を意識しています。
374	他人事とは思ってません。今の所手助けは出来ると思ってますが「その機会」は無い。自分なる前に手助けをしたら自分の為になると思ってます。「情けは人の為ならず」の事を大いに啓蒙して参加者を増やす、参加できる場所を増やす事をして頂きたい。
375	体を使う支援はできないけれど、心の支援や軽度の作業はできる。何もかもができなければいけないのではなく、支援内容を分担できる支援制度を作りたい。認知症以外の介護分野でも、同じ。
376	体を動かすことが症状の緩和につながると聞いたことがあります。認知症の方向けの運動の場を設けてみてはどうでしょうか。週1回のクラスとか。
377	体調不良の時は、ボーッとしたり、自分でもおかしい、と、思う時があります
378	大切なことなので、しっかり学習できるとよいです。
379	大変に難しい、ややこしい事なので、なかなか、これはという意見が述べられません
380	誰しもが認知症になり得る時代、多くの人になり、その上、コロナウイルスの感染が広がれば、社会が疲弊する。一人でも多く認知症になることを予防する手立てを社会で構築する必要がある。どうすれば自分でも予防できるか（例えば、ウォーキングなど）を、発信、広報していただきたい。
381	誰でもがいつかはなる認知症にそなえて、心構えと自分と家族との関係づくりと関係施設等の確認等をして準備対応していくことが大事
382	誰でもなる可能性があるなので、偏見を持たない対処が望まれる。
383	誰でもなる物ものだと思った対策が必要。家族が壊れてしまうことだけは避けなければ。

384	誰でも認知症になるかもしれませんので、個人的にも社会的にも皆で支援できるようになれば良いと思います。サポーター養成講座を受けましたが、まだ実感が湧かず支援ができる自信はありません。それよりも、自分がならないようにしたいと思います。出来るならば・・・。
385	誰にでもなりうる病なので、なる前、なった時、なった後の対処が充実するとよいと思います。
386	誰にでも起こり得ることなので認知症の方との接し方やケアの仕方を学びたい
387	誰もがなりうる病気であるので、国、地域で取り組み啓発がいる。少しでも遅らせるよう支援策を急ぐ必要がある。
388	誰もがなり得る病気であることを理解し、在宅サービスを支える関係者を、地域で応援できるような温かい町づくりがしたいです。そして、関係者もまた、地域住民の方々に気軽に相談できて当事者を皆んなで支えようと思える社会になればいいなおもいます。
389	誰もが認知症になる可能性があり、加齢とともにその確率は高まっています。認知症になっても、できる限り今までとおりの生活が続けられるよう、介護サービスや相談窓口の充実を希望します。
390	誰もが認知症になる可能性がある。いざというときに相談できるところが近くにほしい。
391	誰もなりたくて認知症になってるわけでもなく、明日は我が身と思えるほど増えてるようです。自分になってしまった時、家族に1番負担が行かないような介護や医療制度ができることを願ってます
392	知ろうとする行為自体が重たく感じられてしまう。自然と情報に触れられるような広報の充実があると良いと思います。
393	知人に認知症らしき？人が居るが、どうすべきか（本人に話してみるべきか否か？家族に話してみるべきか等）分からない。
394	地域、町会、班の連携を密にする。認知症の人の公開（個人情報考慮）地域全体で見守る体制づくりと認知症の人が自由に外出できる態勢づくりの構築。
395	地域で見守る仕組みの充実。
396	地域で生活出来る仕組みの構築。 家族支援。 発症防止・進行防止の啓蒙と活動の場所作り。
397	地域で認知症の人を支えていきたいと思っていたが、自分の母が認知症になったのを見て、支えることは出来ないと思うようになった。理由は母がものを取られたという被害妄想になったので。万一認知症の人とかかわって、ものを取られたと言われたら、そしてほかの人にもそう思われたら、地域で暮らしていけなくなるのではないかと不安。介護している人の話を聞いていると、とても自分は介護はできないと思う。下の世話だけならまだしも、被害妄想で、何時間も責められたり、わけのわからない話の相手をしたり、精神的に参ってしまう。自分は家族に迷惑をかけたくないので、認知症になったら施設にお世話になりたい。
398	地域の住民の理解と温かいサポートが何より重要だと思います。
399	地域の方々がこの人は認知症だと分かるバッジなどを身に付けていれば、周りの人が変な人だと思わないと思う
400	地域活動（町内会など）と行政のより緊密な連携（ひと・もの）が求められると思います。
401	地域全体で認知症の人を守る組織を作る
402	地域包括支援センターの拡充
403	地域包括事業所を中心として見回り隊およびケアマネジャー等の資格者を講師に招いて地域（自治体を中心とした）中心に今後のサポート体制ができれば身内の方や友人知人の方も安心されるのではないのでしょうか。
404	地域民生委員の活動状況が見えない。高齢者のみ世帯への訪問、名刺を渡しての連絡方法のお知らせなどで存在を知らせるべきだと思う。
405	地元で、認知症支援のボランティアをやりたいと思っているけれど、具体的にどうしたらいいかわからない。もっと、幅広い情報提供が欲しい。
406	中学生のころ、近所のおばあちゃんがいなくなって、総出で探しました、夜遅くに山水の出る飲み場にいたらしいです。当時は総出で探す習慣がありました、今は聞きませんが。地域性もありますが今はハイテクで対処するのでしょうか、認知症証明書に発信機を内蔵して携帯で分かるといいですね。
407	町内会でのつながりが薄くなっているから、いろんな問題を行政でやらざるを得ないんだなあと感じます。
408	超高齢化社会に向かい、今よりももっと認知症の人が増えることが予想されるため、そういった人が社会に取り残されないような制度作りが必要だと思います。

409	超高齢社会が進む時代、 認知症は誰もがかかることが有りうること。 広報で理解を・・・。
410	長寿化しているのに、費用を安く抑えられる工夫をしないと、今後は生活していけなくなると心配しています
411	弟の妻の父が認知症です。介護施設施設に入っていますが、だんだん悪くなる気がします。もう少し介護人が細かく見てあげたらなあーと思います。
412	東京に住む親が認知症外来を受診しているが、埼玉県北部ではそういった病院があるのかどうか情報が少ない気がします。
413	働きながら認知症の家族を支えている人達の支援（介護離職の防止）が重要と考えます。
414	働く会社内ではもし家族に介護が発生しても開示しない選択を取る人が多いです。現在の課題を共有してみんなで考える社会を実現したいです。
415	動ける認知症者の介護認定が低すぎる。 認知症では、家事や外出できる人の方がリスクが高く、見守りなどの支援が必要となる。直接的な身体介護ではなくとも、時間と労力が必要なにもかかわらず、その評価が低すぎるために中途半端な状態で、悪化するにまかせている、あるいは身体的に低下することを推進するような状態が多く見受けられる。
416	同居している方々で認知があることを察知しない方々がいるようです。第三者が介入することがそれらを知ることに繋がると思う。
417	同居してる祖父母が今後認知症になるのか不安。 若い人向けなら手紙よりも市町村がメールで認知症について配信してくれると、より認知症について触れる機会が増えて便利だと思う。
418	特に、今回の外出自粛要請によって、認知症の症状がすすんだ方も多数おられることと思います。 安心して介護が受けられる施設と、スタッフも安心して介護に当たれる施設の拡充を宜しくお願い致します。
419	独居認知症になってからではなく、事前に本人が申請できるシステムを行政が進めていくことがよい。本人から行政などへの財産管理委託など。
420	独居老人は、動物と暮らしていることが多いので、そういったことも、支援に取り組むなど。 今まではなかなか考えられなかったケアを積極的に、攻めの姿勢で取り組んでいって欲しいです！
421	難しい問題で やはり 家族だけでは 抱えきれないでしょうから 自治体や国のいろいろな支援が必要でしょうか。みんなの問題ととらえられないといけないのでしょうか。
422	日頃マスコミ等による認知症報道により、認知症に対し、それなりの知識があると思っていましたが、今回のアンケートに回答をしてみて、その知識の曖昧さ、不確かさを改めて認識しました。 おかげさまで現時点では、夫婦ともにその兆候は無いと思っていますが、自らの問題として少しずつでも勉強したいと思うところです。
423	日本の風習・慣習で「認知症」患者を軽視、隠そうとする、他人事など、当該者以外の薄い認識はあると思います。深刻なのは、老老介護、生活困窮者の認知症、など経済的支援が重要です。施設についても利用困難なことでは介助に限界がでます。よって、施設の整備、経済的支援を要望します。
424	日本は超高齢化社会です。特に認知症にでもなってしまうと周囲の中で大変です。社会もそれなりの支援が必要になるように思います。
425	認知症かなと思う方には、保険証などに印（マーク）のものを作るといいと思う。 そのカードを見て、周りの判断や行動がより良きものになると思います。若年性認知症の定期検診を市町村で無料開催してもらいたい。若年性認知症ほど、辛いものはないと思う。
426	認知症が進むと、家族では無理なので、施設利用が安全。
427	認知症サポーターの証は持っているが、認知症の方の家庭まで入ってサポーター活動をするには自信がないし、間に入る人がいないと厳しいと思う。また、成年後見制度といってもお金儲けでやっているのだから信用できない。
428	認知症サポーターは市報などで募集していますでしょうか？ぜひ受けたいです 広報の露出が少ない様な気がします。今まで全くこういった制度があることを知りませんでした。
429	認知症サポーターをはじめて知りました。自分にできることがあるのではないかと、そんな気持ちになりました。同じように考える人がいるかもしれないです。もっと広めるべき事だと思いました。

430	認知症だから〇〇だ、というようなレッテルを貼る事の無いように、正しい知識とケアの仕方、相談窓口について、地域住民にわかりやすい広報を行って欲しい。 また、子供達に、理解しやすい人間の「老い」「認知症」について学べる場を増やして欲しい。
431	認知症での孤独な生活は、悲惨な状況となるので、グループホームなどでの支援を前提とした仕組みが必要と考える
432	認知症というワードは知っていても、いざそうかもと思ったときにどのような動きをすればいいのかがぱっとはわからないので、日頃誰がなってもすぐ動けるような知識が欲しいと思います。 そのための広報などを行っていただき、より身近に感じられるようになれば安心できると思いました。
433	認知症という言葉には差別用語の響きがあり、定義もあいまいである。病院によっては「物忘れ外来」などの表示をしている。人間には年齢相応のボケや物忘れがある。埼玉県は全国有数の高齢者の多い県なので「高齢者問題研究所」を設置して、認知症を含めた様々な問題で研究成果を発揮してもらいたい。
434	認知症といえど、おとなしい人だけではなく突然表情が変わり暴力的になる認知症もある。そのためにも、グループホームなどで頑張っている方への国からの金銭面でのサポートなど手厚くしてほしいです。
435	認知症と言わずに”子供に戻る”と言ってもいいんじゃないかと思う。
436	認知症においては、サポートする家族や医療関係者・介護関係者の苦労が大変な事になっております。認知症の方々だけでなく、周りの方々への支援も必要だと思います。
437	認知症にかからないようにする対策を推進するべきだと思います。
438	認知症について、ある程度知っているつもりでしたが、全く知らないことに気づきました。養成講座を受講して、基礎知識を得たいと思います。
439	認知症について、改めて、勉強したいと思います。
440	認知症について、深掘りしたことはありませんでした。 地域でお互い様といった相互扶助があったらよいと思います。
441	認知症について、正直なところ実感がありません。 私自身が認知症になってしまうと、それ以降のことは私自身全く分からなくなってしまいうでしょうし。 家族が認知症になって初めて認知症についてより深く知らされることになるのかと思います。恥ずかしながらそのような浅い認識ですので、認知症についてより深く知る機会を日常得られればと思います。
442	認知症についての相談窓口について、集約かつ周知により、相談者が右往左往したりたらい回しにならないようにすることが大切だと思います。 また、施設入所の際にその家庭の状況などによっては本人だけでなく配偶者なども一緒に入居できるようにしてはいかがでしょうか。職員のお手伝いなどを行うことにより、配偶者などは収入が得られ、施設の人手不足も多少は解消できるのではと思います。
443	認知症についての理解が深まるような機会があればいいと思います。
444	認知症については、知らない事だらけです。 気軽に知る事ができたらいいなと思います。
445	認知症についてもっといろいろなことを説明したり広報したりしてほしい。いずれは誰でもなる可能性があるからです。
446	認知症について皆がより深く理解できるような啓発活動をお願いします。
447	認知症について隣近所とも連絡を密にしてお互い助け合って生きていきたいと思う。
448	認知症になったからといって隠すのでは地域のサポートが受けられない。 認知症を隠さずに公にすることで地域の見守りにつながる。 上記にも記入しましたが認知症になってからの支援を考えるだけでなく、日ごろの生活から認知症にならない様に地域で人と関われる居場所への支援を、総合支援事業で各市町村にむらなく広めていただきたい。
449	認知症になったとき、個人的には家族とともに生活したいと思うが、反面家庭内の大きな負担や近所付き合いなど考えると介護サービスなどを頼らざるを得ないとも考える。 自治体の理解（民生委員活動と連動した自治体支援）や施設の拡充（格安、安心の行政支援）など益々増えてくる老人に対する手厚い介護支援が必要だと考える。 生き生きサロンなどの活動も消滅してきているように思うし、軽度、中度、重度に見合ったそれぞれの支援活動に力を注いで欲しい。
450	認知症になったら、具体的手順を地区ごとに周知徹底し、安心して老後を過ごせるようにしてほしい。
451	認知症になった時、家族に迷惑をかけたくないと思っています。施設や活動場所をたくさん作って欲しい。

452	認知症になった時の受け皿がまだまだ少ないと思います。
453	認知症になった人やその家族に対しての「偏見・差別」等が発生しないような啓発活動も積極的に進めてほしい。
454	認知症になった母を見ていたことがあります。 正直言って、実の親を看ることには限界があります。 自分は早い段階で施設にお願い出来て助かりました。 自分が介護が必要になった場合に施設を利用できることを望みます。
455	認知症になってからの支援はもちろん大切だが、認知症にならない、あるいは少しでも認知症になる時期を遅らせる支援策が重要だと思う。 原因の一つである脳血管性障害による認知症は、若いうちからの生活習慣で ある程度予防できると思うので、特定健診・特定保健指導で啓蒙を図ったり、広報等で認知症予防体操などを紹介したり、広く住民の目に留まるような周知があっても良いと思う。
456	認知症になっても、出来るだけ自立して暮らす事が出来る様支援出来たら良いと思います。
457	認知症にならない、進行させない等予防が最重要
458	認知症にならない、予防、回復医療などをより広く知らしめる活動が予防につながると思う。
459	認知症にならないための施策の充実を（医療を含め）
460	認知症にならないという保証はなく、今後考えていかなければいけない課題だと思うけど、今は具体的には何もしていない。
461	認知症にならないように脳トレをすること
462	認知症にならない方法、進行を遅らせる方法等、知りたい。
463	認知症にならない様に気を付けて生きている80歳を越えた私の両親を見習いたいです。他人の手を借りずに二人で頑張っています。夫の母は毎日テレビを見て読書もせずボケる一方ですが… 姑自ら同居を解消して独居を始めたので面倒は見ません。
464	認知症になりたくはないと誰しも思っているが、こればかりは先の事はわからない。 絶対といえない自分がいることは確かです。 日頃から、これは良いと言われている事を実行している程度です。 誰しも避けて通れない道だとわかっているが、他人に迷惑だけはかけないように暮らしたいと願っている。
465	認知症になりにくくするゲーム・体操・クイズの普及があると良い。
466	認知症になりますと家族・親族との助け合いが必要とおもいます。 私の姉も認知症で介護施設に入りまして、時々、見舞いに行きまして大変な事だと思いました。
467	認知症になると、本人もさることながら、それを見守る家族の負担は、とても大きいです。正直なところ、家族が、面倒見るには限界があり、感情的にもなりかねません。やはり、その認知が進んだ場合は、公の施設などで、専門スタッフにみてもらいながら、一緒に認知症の家族を支えた方が、お互いに良いように思います。もちろん、施設に入れっぱなしという意味では、ありません。これから、ますます増えるだろう認知症は、まずは早期発見で、その進行を出来るだけ進むのを抑えて、普通の社会生活が、家族だけでなく、地域の人全体で、支え、認知症がすすみすぎて、家族の手におえなくなったら、公的機関のサポートで、認知症の本人だけでなく、その家族にも、負担が、軽減されて、皆が平和に暮らせる事が、できたらなあと思います。
468	認知症になる前に本人の意向を聞いておく仕組みを構築してほしい。終活と同様かもしれないが、個人の希望、尊厳が守られるようになるべくかなえられるような仕組みが必要ではないでしょうか。
469	認知症になる前の事前指導や訓練や習慣見直しなどの事前支援強化をしてもらいたい。
470	認知症に関するあらゆることを啓発していただきたい。
471	認知症に関する情報発信として、図書館に関連する図書を置くなど、対応しては如何でしょうか？ 先進的な取り組みをしている自治体もあります。
472	認知症に関わらず、高齢化社会になるにあたって、県の介護福祉制度の充実を望んでいます。しかし、介護職の方への待遇が改善されなければ、人手不足に陥り実現は難しくなるのではと思います。
473	認知症に限らず、リスクアセスをしても予想を超える状況が発生しており、現状の行政の範囲では賅いきれていないと思われる。
474	認知症に限らずハンデのある人が安心して暮らせる仕組み作り
475	認知症に対しては、人間誰にも可能性があるもので、年を取るほど、頭の中では不安があります。
476	認知症に対して理解を深めるには、対象を子供たちまで広げて行ってほしい
477	認知症に対しまだ他人事と思っています。少しでも知っておくことが必要かもしれません。

478	認知症に対する知見が今後さらに深化していくと思います。情報の更新を常にしていく必要があると感じます。認知症の人の人権を否定するようなことは戒めてほしい。特養老人ホームなどで認知症の人もそうでない人も一緒に介護するのは無理があると思います。グループホームのような認知症の人だけの施設がもっとあったらよいと思います。
479	認知症のセルフチェックを簡単にできるようにしてほしい。
480	認知症のレベルによって対応が全然違うと思うので、まるっと「認知症支援策」というより、その段階に応じた政策立案が必要だと思っています。
481	認知症のレベルに応じての支援やデイサービス施設など、様々な可能性や多様性が欲しいです。
482	認知症の家族がいてもそのことを隠す傾向にあります。知っていれば何かしらお手伝いできるものと思っています。
483	認知症の家族の方が、もっと周囲と協力しあえて抱え込まずに介護や日常生活を送れるような取組があることを期待します。
484	認知症の家族は辛い
485	認知症の家族を多少は知っているが、家族が大変な思いをしているのを感じています。多少でも、お手伝いが出来るチャンスがあればチャレンジしたいと思っています。
486	認知症の原因・メカニズムを究明し、認知症予防が喫緊と考える。
487	認知症の原因となる疑いのある食品の規制。
488	認知症の講義を受けたいのですが 人員がいっぱいで 落されてばかりです
489	認知症の実態を知らずにいましたが、今後、認知症に対する知識をつけたいと思っています。また、サポーターの養成講座も受けたいと思っています。
490	認知症の初期症状では、周りから気づかれにくく、本人も病識がないため支援に繋がりにくい。 地域包括支援センターの職員がもっと知識を深め、必要な支援に繋げるような体制が求められていると思う。
491	認知症の初期発症と思われる知人と接し、自分自身もこの先の不安を感じています。市開催の健康活動ボランティアに参加し、地域包括支援センターのケアマネジャーの方々と会話をする機会もあり、若年性認知症者の増加もあり、介護する家族への負担を軽減する事、専門医の増員や専門医療機関の増設等が充実出来る事を望みます。
492	認知症の親の財産を動かすのが大変である。後見人制度は、利用しにくい。
493	認知症の進行を遅らせる、又は改善する治療法を開発し、確立して欲しいです。
494	認知症の人が外出してどこに行ったか不明の場合発見できる本人装着品の普及、認知症ボランティアの立ち上げの方法等のPR活動。
495	認知症の人が身近にはいなく、ドラマやニュースで聞いたことくらい知識しかありません。どういう生活を送っていたら、なりにくいのか、なりやすいのかなども知りたいです。
496	認知症の人が生活の中に当たり前存在する社会であるべきですが、予防できる方法が早く明確になればいいなと思います。障がい者や認知症の方の生活支援の充実だけでなく、家族支援の充実も期待しています。
497	認知症の人が暮らせる施設やグループホームの増設及び介護保険サービスの拡充が重要かと。
498	認知症の人の介護や世話をする人が一時的でも心と体が休まるようなサービスを提供するところを作るべきだ。普段のデイサービスより上乘せした金額でも良いから一泊二日程度預かるサービスを提供する施設を広めてほしいし、それを利用する家族が罪悪感を感じずに済む世の中を作りたい。
499	認知症の人への接し方の知識が不足しているので、知りたいです。
500	認知症の接し方がわからないのでみんながわかるように教えて欲しいです。
501	認知症の早期の診断と治療。対策方法の確立を示す。
502	認知症の早期発見、診断の仕組みの拡充を要望したいです。
503	認知症の早急発見体制の整備と進行防止策のロードマップ構築確立に期待したい
504	認知症の程度の検査や認定のためのしくみは充実していると思いますが、その症状に対し、家族はどう接したらいいのか、どう生活したらいいのかという指導が無いように思います。 怪我や病気であれば、ケアの方法等、細かな指示が出るのに、認知症の場合は病院や医師からの指示はありませんでした。 また、そのよう指導を受けるための相談窓口の紹介もありませんでした。
505	認知症の発症メカニズムを解明し社会復帰への道筋を構築していただきたいと思っています。認知症は今後大きな社会問題化すると思われます。
506	認知症の母を介護していますがケアマネジャーの質を上げて欲しい (ケアマネの担当介護者が多すぎる)



507	認知症の方、支援、介護する方が心から安心できる支援策をすべて実施して下さい。
508	認知症の方が外に出る機会を多くする。
509	認知症の方には、住所とお名前、電話番号が書かれたものを首から下げたりしておいていただければと思いますが、リスクもありますのでせめて電話番号かお名前だけでも分かるようにしていただいた方が良く、認知症の方と接しました経験上思っております。
510	認知症の方のサポートと併せて、介護されている家族等へのサポートや相談も地域リソースを喚起しながら拡充できるよう、地域活動を支援してほしい。
511	認知症の方を含め様々な高齢者の施設があるのですが、現行の制度だと何処の施設でも入居者をお客様としか考えていない、あるいは金づるとしか考えていない対応をするところが多いと感じています。デイサービスみたいな軽度のところはいいののですが、重度になり意思伝達とかがしっかり出来ないような方が利用するところになればなるほど、そういう傾向が強いように思います。家族もまた1年365日預けっぱなしで会いに来ることもしない、お客さんが来るから正月からデイサービスに預けられる人もいますが、何かあると人一倍居丈高に怒鳴り散らす家族など様々なことを目にしてきました。こういったことに不条理さを感じざるを得ません。
512	認知症の方を抱える家族の大変さは理解しているつもりです。社旗環境を充実して社旗が受け入れ、介護できる仕組みがあればよいと思います。
513	認知症の本人を介護している家族が、身体的・精神的に癒される場があったら良いと思う。(介護している人々が集まって悩みを打ち明けられる会など)
514	認知症の予防の仕組みの充実。セミナーの拡充が必要かと思えます。
515	認知症は 発病すると 全治しない 長期にわたる介護が必要な病気です。長期にわたる介護・費用が必要です。介護保険の適用範囲を、もっと拡大して欲しいです。
516	認知症は、現時点では現状維持で留まっているが、改善する医療技術の進歩、開発を促進してほしい。
517	認知症は、全ての人になる可能性があると考えております。社会的に地位があった方でも無職の期間が長かった方でも立場に関係なく、認知症になったりならなかったりです。寿命が長くなっている現代において、認知症にならない為の予防法、メカニズムの研究がなされないとネガティブに考えている方にとっては不幸でしかないと思います。(ポジティブに考えている方もいらっしゃいますが) 少子高齢化が進み財政的に厳しさが増していく中で、本人が本人らしくいる為にも、家族の負担、介護職の負担にならない為にも予防に力を入れて下さい。
518	認知症は、多くの方が遅かれ早かれ程度の差があれ、通る道だと思うので、地域の人たちの協力で支えあうことにより乗り切ることが出来るような地域を醸成することが出来るよう、日ごろから地域の交流をしていきたい。
519	認知症は、本人より、まわりのいつも接している家族に大きな負担、ストレスなので、介護崩壊がおこらないような対策が必要になってくると思います。認知症の人は、なぜか外面だけは良いので、家の中のことは、わかってもらえないことが多く、その大変さは理解されにくいというのも問題だと思います。気軽に相談できる窓口が、あちこち(例えば、公民館など)にあればいいのと思います。
520	認知症は関係ないと思っている人向けに、自分がなったらどうするか考えてもらうようにする。例えば健康診断を受けるときに必ず、10分ぐらいのビデオを見せるとか、テレビをつけている病院に認知症についてビデオを定期的に流すとか。自治会向けに講演会をすとか。
521	認知症は個人的な症状ですので、年齢や男・女などについて格差があります。原因は脳細胞の状況により、個人的な脳の働きによる、判断力や記憶力が高齢化とともに症状が進む病気であると理解しています。これまで埼玉県や市町村の認知症の取り組みにより、認知症サポーターの活動に参加して、県の「認知症サポーター証」を持っております。地域で各種の組織の役員として、高齢者の脳の動きや症状等や行動や心理状況等を「認知症サポーターキャラバン」として、認知症支援策を実施しております。
522	認知症は自分では、なかなか気づかないと思うので、やはり病院や行政に頼るしかないので、専門医の増員、行政などの支援の広報活動を増やして欲しい。
523	認知症は早い時点で発見して、適切な対応をすれば進行を遅らせることができるかと聴いている。より沢山の人が認知症の方への対応を知っていて、だれでも正しく扱えれば認知症の方にとってはそれが住みよい社会といえると思う。

524	認知症は誰でも起こりうる身近な事です。家族の理解、地域の理解が必要であり、また、身近に相談できる窓口の拡充も必要であると思います。
525	認知症は誰にでも起きる障害ですので、万民がそのことやその対処方法などを知り、相互依存できる社会を目指したい。
526	認知症は誰もが病気になります。でも、地域情報や地域住民の皆さまの理解が必要があり、市区町村の連携をしながら認知症の講座の活用、専門医の増員等を検討することが重要です。
527	認知症は特別な病気ではないという認識です。その病気を行政が特別な費用を掛けて窓口を設けたり職員に工数を掛ける様な事をしてはいけないと思います。病気は医者任せ、行政が余計な費用を掛けるな。
528	認知症は本人だけでなく、家族のサポートも必要不可欠だと考えます。家族の働き方に配慮ある制度があるとよい。
529	認知症は本人も辛いだろうが、周囲の人々はもっと辛い。その一言に尽きるだろう。
530	認知症をもつ家族が、孤立しないような、【同じ悩みを抱える家族たちの交流会】を開催したら、不安を分かち合ったり和らげる事ができるのでは。
531	認知症を何とかしようという視点に留まらず、認知症の人と共に同じ時代を生きる人という視点で、様々な支援策が展開されてゆくことに期待しています。
532	認知症を治癒する方法の開発をのぞむ。
533	認知症を進行させない方法の模索が大事だと思います
534	認知症を早く発見して、家族や医療関係で支えていき、毎日の生活のなかで症状が進まないように協力しあっていく方がいいと思います。
535	認知症を認めたくないため家族が困っている場合の対応が分かりにくく困っていても相談できずにいる場合が多いと思う。 。老老介護の心配してます。
536	認知症を抱える家族は大変です。自分の精神が持たないかもしれません。国の手厚い支援が必要かと思えます。
537	認知症を予防出来る、確実な方法が見つかる事。また、認知症になっても進行を止められるような方法が見つかる事を期待し、将来、認知症を怖がる事なく生活したいです。
538	認知症を良く理解して、施設やグループホームまた、地域で、支援すると共に、介護家族の支援も必要だと考えます。
539	認知症患者さんのいる家庭に分かりやすい接し方ガイドブックなどの提供を行う
540	認知症患者にGPSをつけていざ行方不明になってもアプリで確認できるようにする
541	認知症支援に対する講和、講義を増やしてもらいたい。
542	今のコロナの状態では人との接触が無いので認知症になりがち、公園の駐車場ぐらい早めに開放すべき（地元にある健康福祉村）。
543	認知症支援を仕事として多くの人に参加しやすい仕組みにしてもらえれば、自分の仕事にしてみたいと思う
544	認知症支援策と言われても、「何をどうするか」が分からないのが現実です。この基本的啓蒙がもっと必要と思う。
545	認知症支援策について、私自身が無関心のためか、理解していないことばかりで反省しています。運転免許更新とか健康診断の機会に、支援策のPRをしてください。
546	認知症者を介護している家族の自助グループを充実させてほしい。自助グループが機能していくまでの間は“専門家”のバックアップが必要。
547	認知症専門医と記載があっても認知症関連行動のケアまで診断できる医師が少ない。相談できる窓口を知らない人が多い。
548	認知症専門医など、認知症に対する専門のスタッフが増えたり、一般の方にも認知症の理解が深まるといいですね。
549	認知症別の症状と介護人（同居・別居）や要介護度によっても対応が分かれる。少子化（人口減少）核家族化や高齢単身者や未婚単身者などの社会的要素はどんどん進んでいく。国や地方自治体財政も厳しさを増し、手厚い支援は期待できないと覚悟している。義母は自宅で義妹夫婦に介護（認知症）されていたが、要介護度が進み認知症専門病院に入院となった。私たちは週に1回日中の応援介護だったが、夜も排泄介護や動き回る義母対応に疲弊した義妹夫婦と相談して入院となった。介護施設も利用したが施設側から引き取りを求められる事が多く入院となった。入院費用も長期化するとなかなか難しく悩ましい。
549	認知症本人はもとより、認知症を介護する家族に支援の充実を望む。できれば、公的機関で24時間相談ができる窓口（電話相談等）の開設を望む。

550	<p>認知症問題は、高齢要介護者の認知症発症リスクが高まるという事実に鑑み、認知症発症予備軍である要介護者の問題も含めた形での対策が必要と思われます。</p> <p>なぜなら、日本人の「人生100年時代」が視野に入った今、以下の2課題の積として算出される「総 要介護 時間」の急速な増加が” 超高齢化社会先進国” 日本の喫緊の課題の1つになるからです。</p> <p>①寿命の伸長に伴う「要介護者数」の増加 ②寿命の伸長に健康寿命の伸長が追従していないことに起因する「一人当たりの要介護期間」の延長</p> <p>また、ストレス社会での生活を余儀なくされる中、寿命の伸長に伴い、一生の間に、2人に1人が癌を発症するとまで言われるように、介護についてもそのような状況に陥ると思われれます。</p> <p>一方、医療技術の進歩により、癌は早期発見であれば確実に治癒できる病となり、少量の血液や尿から短時間でその有無の判定や癌部位を特定する検査の実用化も近いことから、認知症や介護に関しても研究開発が進んだ将来、テクノロジーの導入により解決される方向に向かうと思われれますが、その「将来」がいつ?になるのか が問題です。</p> <p>よって現段階では、 少なくとも 以下の視点からの取り組みが必要と考えます。</p> <p>A) 事後策（ネガティブ対策）＝ 認知症を発症した本人や家族支援の充実 B) 事前策（ポジティブ対策）＝介護・認知症予防と要介護発生時期を遅らせる施策の充実（例えば、要介護にならない、あるいは遅らせるための生活習慣の啓蒙と実践など）</p> <p>更には国と協力して、大局的視野（空間軸のみならず時間軸をも含めた）に立脚した” メタ高齢化社会先進国” としての日本や埼玉の未来ビジョンの起草とその実践を強力に推進していただきたい。</p> <p>「人生100年時代」を国民や県民の一人ひとりが、ポジティブに捉え「希望をもって創造する人生」を享受でき、また世界に誇れるような「メタ高齢化社会」実現のインフラストラクチャー整備を切に期待いたします。</p>
551	<p>認知症予備軍ともいえる家族を現在しよっているの で 症状が進行しないことを願っているが 進行の停止の治療を相談する施設についての知識を得たい</p>
552	<p>認知症予防対策の強化</p>
553	<p>認知症養成サポーター講座に参加して勉強になったが、サポート団体のハードルが高すぎて参加しにくさを感じた。実践講座のようなものがあつたら参加しやすいのではないかと思う。</p>
554	<p>年を取ると認知症は避けられないのであれば、如何に早くその症状に対して手を打つかが重要になってくると思います。予防方法が早く見つかるといいのですが.....。</p>
555	<p>年齢を考えると、自分自身がいつ支援を必要とするようになるかわからない。私自身家族の介護をしていたことがあるが現代は家族、兄弟が少ないので皆で協力してということも難しい。介護する人の体力と余裕がどこまで介護される人を受容できるかという問題になると思う。</p>
556	<p>年齢的にもだんだん認知症の不安を感じますね、ボケ防止に注意して生活したいと思えます。</p>
557	<p>年齢的に自分も含め他人事では無くなってきています。機会をつくり、対策をしなくてはと考えています。 こんな方増えてますね。 大変な時期にきてる気がします。</p>
558	<p>買い物難民になる地区、公共の移動手段のない地区への支援。</p>
559	<p>避けては通れないものだと思います。いつ家族がなるかわからない。その時に備えて勉強したいと思えます。</p>
560	<p>美容師として働いていますが30年以上顧客としてお付き合いがあります 75歳過ぎの一人暮らしのお母さんが少しずつ認知の症状が出ていますがお嫁に出たお嬢さんその子供たちもずっとお付き合いがあります それぞれの悩みやグチを聞いてあげられることや家族や身内では気づかないことなど変化をこちらからも話したりして情報交換ができるように話もしてあります ご家族にとっては話にくいことだとは思いますがある程度近隣や本人の生活圏に関わっている方々と地域ぐるみで少しでも認識していればご家族の負担も多少軽減できるのでは?と思っています 誰にでも起こり得る事として自治体などからも地域の広報や支援をもっとお願いすれば支援の声も上がるのでは?と思っています。</p>
561	<p>頻繁に防災無線で行方不明のご老人の放送があるが、その後無事見つかったのかどうか心配で気になるのでなにかフォローしてほしい。</p>
562	<p>不安しかないので、事例を色々知りたい。</p>

563	父が今現在認知症で、兄弟で対応に追われています。認知症になっても、もっと出られる場所が、デイサービス以外にもあると良いと思っています。新型コロナウイルス肺炎の流行で、今まで行けていた地域の行事が全て無くなり、家にこもっていて、明らかに認知症が進んだ気がします。もっと、認知症に関しての情報が当たり前のように父の住む地区にもあると良いと思います。
564	父が認知症になり、同居家族がたいへん苦勞した。デイサービスでの対応が、本人の希望に合わなくなりイライラが募っていたようだ。できるだけ満足できるようにすることが、安定した生活につながるのではと思った。最後に精神科に入院したが、そこでは全く食事をしなくなった。よほど気に入らないことがあったと見える。人手の少なさにも起因するのだろうが、家族としては対応が不満だった。可能な限り温かみのある対応ができるようにしてほしい。働く人が心の余裕を持ち、疲勞が軽減されるような働き方を望みます。
565	平均寿命が延びる中、認知症の増加は避けられないだろうと考えています。自分が直面したときに備え、学習の機会が身近にあれば、ぜひ学びたいと思っています。できれば、概論的なものではなく、現実に即した実務的な講座などを希望します。
566	偏見をなくすための講座や知識を得る機会を増やす。
567	偏見を持たないことが重要。
568	勉強する機会を作って欲しい
569	勉強不足です。
570	母が 認知症になり苦勞しました。施設に預けたくとも空きがなく なかなか預けることができませんでした。経験したこと無ない人には わかりませんが その苦勞は大変なものですよ。 自分の自由な時間は全く無くなることです。夜も安心して眠れません。何がつらかったのか と聞かれたら・・・夜も安心して寝てられない この状態が何年続くのか・・・先がも見えなかったのが1番辛かったです。
571	母が64歳で認知症になりました。グループホームで暴れてしまい、病院に医療保護という形で次の場所が決まるまで長期入院をして、現在は特養に居ます。グループホームの料金は高いのに手に負えなくなったからと病院に丸投げされて、認知症なので個室でさらに高い費用がかかり非常にきつかったです。治療をするわけでもないのに病院に入院するしかないのでしょうか？一時保護施設などがほしいです。
572	母が認知症で現在特養でお世話になっており、介護保険を通じての行政の支援に感謝しています。今後は我々子供世代が老齡化していくにつれて認知症を未然に防ぐことが急務と思います。まずは自分がそうならないように努力していくつもりですが、何か60代からできることがあればその啓蒙・広報活動が大切だと思います。
573	母が夫が亡くなったのがきっかけで認知症になり、少しずつ記憶が飛んでいくのがわかりました。車いすを押して公園やスーパーに行くのをとても楽しみにしていました。何が食べたいとか、デイサービスがどうしたとか、よくしゃべりました。ただ見守るしかなかったけれど、おだやかに過ごせたと思っています。
574	母の資産管理のため成年後見制度を検討したことがあります。家庭裁判所にも相談に行きました。数年前のことで細かい事は忘れてしまいましたが、あまり現実的ではなく、内容も煩雑で利用できないものでした。これから認知症の方が増えるのですから、利用しやすい制度にしてほしいです。高齡になると自分の名前を書くのも、正式な書類への署名などだと緊張してしまつてうまく書けません。そのようなことも考えられていないと思います。
575	母親が認知症でした。私の姉妹が介護していました。私自身は何も手伝うことができず、申し訳なく思っています。施設の担当の方にもお世話になりました。母は一昨年旅立っていきました。もっと親孝行すれば良かったと後悔しています。行政にもお世話になりました。ありがとうございました。
576	母親を介護してました。今のように行政の援助もなくひとりでかかえこみ てんぱって結局 施設へお願いしました。これからは 相談窓口をもっとPRしていただき また 同じ境遇の方とのはげましあえる窓口や会合など コロナがおちついたら もっと広報誌に掲載ねがいます。認知症関連だけを毎回 記事にしたらと思います。介護の大変さを息子世代に継がせたくありません。
577	放送で行方不明の方の名前をよく耳にします。GPSなどで早く見つけてあげられるようにしてあげてほしいです。
578	暴力的になる人もいて、扱いがとても難しいです。

579	本人はわからないと言われているが、ここ数年、義父母を100歳と97歳で送ったが、ところどころ記憶は飛んでいたが、良くわかっていた部分も有り、対する人が、落ち着いて、ゆっくり接したら、和やかにしていたので、認知症、分かっていないと言わないで欲しい。最後迄、人として接して欲しいと思う。
580	毎日のウォーキング、脳トレ、読書などで過ごしています。日々家族以外の接触はほとんどありませんが、ウォーキングをしていると普段は公園などで見かけない老夫婦や若い家族連れもルールを守り結構楽しんでいるように思えます。世界中が大変な時期ですが、健康維持や地元の再発見など家族の絆は深まっていると感じました。
581	毎日の歩行・散歩を行う。 小学低学年以下の問題集での脳への活性化を図る。 認知症の方へ幼い頃の記憶を呼び戻し、思考の訓練を行う。 (親の名前・自身の生年月日・住所・友達・などを聞きながら、話す事に興味を引き出す。) 96歳で亡くなった母親に、上記を行い認知症の進行を遅らせましたが、2年行った後に、まったく関わりを中止した結果6か月で、大きく認知症が進みました。
582	未だ漠としており具体的なものは思いつきません
583	明日は我が身で 本人の苦しみを、どう自分で納得して、戦いながら生きられるか？疑問だらけです。 全く記憶喪失状態の苦しみののだろうか？。いろいろな実態を知りたい。
584	迷い人のお知らせを聞くたびに、認知症の人なのか、と思いますが、どうなのでしょう か？テレビ埼玉で宣伝している爪にはるシールをもっと多くの人に知ってもらい利用して もらえれば、良いのではないのでしょうか。
585	面倒を見ている人のケアを充実して欲しい
586	薬の開発が喫緊の課題である、世界にまだない。
587	友人の妻が若年性認知症になり日常生活の苦勞を聞いている。家族の負担を軽減する必要 がある。また、認知症家族の会への入会によって同じ問題を抱える相談相手ができる事が 良かったとの事。
588	予めきちんとした知識を得て準備しておくべきとは思いますが、気の重い話であり、具体的な 行動は出来ていない。
589	予防と進行を遅らせることが大切だと思う
590	予防のための 取り組みを増やしたり 早期発見できる健康診断のような認知症発見プロ グラムなどの充実を希望します
591	予防方法は確立されていないかもしれないが、もう少しならない・なりにくい方法など (食事や生活習慣)を広めたらよいのではないかと、思う。
592	様々な要望に応えたり課題を抱えている行政機関だけではマンパワーの限界があると思 いますので、行政機関が相談を受けたら、様々な国家資格を持つ(民間人の)士業専門家 につなぐ仕組みがあると、マンパワーの問題はある程度解消し、認知症の方を地域で多く の方の力によりサポートできるようになるのではないかと、思います。
593	要介護申請時の認知症判定をについては一考の余地があるかと思えます。
594	来るべき時の不安が大きいです、
595	頼れる家族がいない人が認知症になった場合の仕組みや生活モデルを示してほしい。
596	良い環境での施設が増えるといいなと思います。また支援する職員さんへのケアや働く環 境の充実などもあるといいなと思います。 わたしもヘルパーの資格など持っていますが ヘルパーとかをこき使う人などがいて仕事 としてするのが怖い感じがします。福祉支援を利用する側にも受ける側としての心構えや 教育をしてもらいたいと思います。 介護認定になる前の 怪しい時期などのケアというか 見守りというか 支援の充実があ るといいなと思います。
597	令和7年ですか。ピークは。 コロナ禍を体験し、意識的に多様化しました。 各人が個々の生活習慣を見つめ、見直し。あいまって認知症支援対策を高齢者に限らず、 若い方にも周知しらしめ、県民こぞって取り組む姿勢が大事だと思います。関係者の皆様宜 しくお願い致します。
598	老若男女問わず、認知と理解への広報が必要ではないかと。 研究も進んでいますが、まだまだ早期発見と予防が困難。 誰もが発症する可能性があるため、多くの人に関わり、身近な問題として考えることが大 切では？子供達にも、見かけたら、声かけ、人を呼ぶという行動を教えていくのも、教育 だと思えます。

















ここまで